

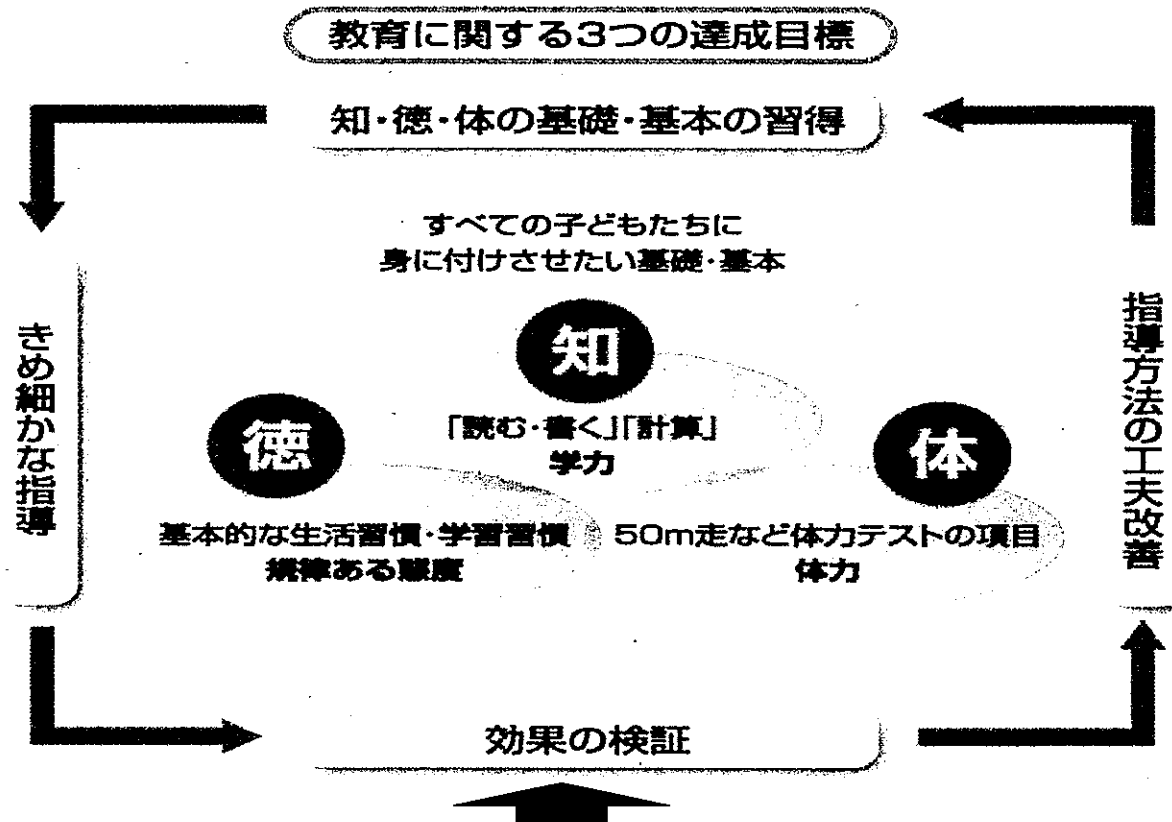
# 第2回埼玉県総合教育会議資料リスト

- 1 教育に関する3つの達成目標
- 2 生徒指導・体験活動
- 3 高校再編整備
- 4 グローバル人材
- 5 奨学金
- 6 地域連携の取組

ページ	番号	資料内容	担当課名
<b>1 教育に関する3つの達成目標</b>			
1	1-1	「教育に関する3つの達成目標」とは	義務教育指導課
2	1-2-1	「徳」における取組	生徒指導課
3	1-2-2	「徳」における現状	生徒指導課
4	1-2-3	子供たちのスマートフォン所持の現状とその対策	生徒指導課
5	1-3-1	「体」における現状	保健体育課
6	1-3-2	「体」における課題(ボール投げ)	保健体育課
7	1-3-3	「体」における課題(握力)	保健体育課
8	1-4-1	「知」における現状	義務教育指導課
9	1-4-2	全国学力・学習状況調査の全国順位(小6)	義務教育指導課
10	1-4-3	全国学力・学習状況調査の全国順位(中3)	義務教育指導課
11	1-4-4	「知」における取組	義務教育指導課
<b>2 生徒指導・体験活動</b>			
12	2-1-1	これまでの不登校対策全体像	生徒指導課
13	2-1-2	これまでの中途退学対策全体像	生徒指導課
14	2-1-3	「埼玉の子ども70万人体験活動」「埼玉県みどりの学校ファーム」の実施状況	家庭地域連携課
15	2-1-4	学校活動として被災地ボランティアに参加した高校生生徒数	高校教育指導課
16	2-1-5	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び相談員の関係図	生徒指導課
17	2-1-6	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置による成功例	生徒指導課
18	2-2-1	中学校配置相談員への相談件数・SSWの人数と小中学校児童生徒不登校数の推移	生徒指導課
19	2-2-2	SC中学校全校配置後の不登校数の推移(小・中学校)	生徒指導課
20	2-3	小1問題対応非常勤講師配置とその成果	小中学校人事課

ページ	番号	資料内容	担当課名
<b>3 高校再編整備</b>			
21	3-1-1	これまでの高校再編整備の実績	魅力ある高校づくり課
22	3-1-2	これまでの高校再編整備の成果	魅力ある高校づくり課
23	3-1-3	公立高等学校全日制の生徒数・学校数の推移	教育政策課
24	3-1-4	公立高等学校全日制の生徒数・教員数・学校数の推移(平成13年度～平成26年度)	教育政策課
25	3-1-5	公立高等学校全日制における国立大学進学者の状況	教育政策課、高校教育指導課
26	3-2-1	高等学校における職業教育の取組	高校教育指導課
27	3-2-2	高等学校における職業教育の成果	高校教育指導課
<b>4 グローバル人材</b>			
28	4-1	埼玉県グローバル人材育成基金の概要	国際課
29	4-2	海外留学の促進～埼玉発世界行き～	国際課
<b>5 奨学金制度</b>			
30	5-1	日本一の奨学金制度	財務課
31	5-2	日本一の奨学金制度実績・成果	財務課
<b>6 家庭・地域連携の取組</b>			
32	6-1-1	発達障害児・者への支援に係る事業実施結果	福祉政策課
33	6-1-2	発達障害児支援のための人材育成	福祉政策課
34	6-2	生活保護世帯の子供への学習支援	社会福祉課
35	6-3	学校応援団の組織率と活動事例	家庭地域連携課
36	6-4	子ども大学開校状況	生涯学習文化財課
37	6-5	わがまち防犯隊の数の推移	防犯・交通安全課
38	6-6	埼玉県家庭教育アドバイザーの養成人数	家庭地域連携課
39	6-7	「親の学習」に係る取組	家庭地域連携課、保健体育課 高校教育指導課 義務教育指導課
40	6-8-1	埼玉版ウーマノミクスプロジェクト(1)	ウーマノミクス課
41	6-8-2	埼玉版ウーマノミクスプロジェクト(2)	ウーマノミクス課

# 「教育に関する3つの達成目標」とは



## 学力

「読む・書く」「計算」のペーパーテストの平均正答率

## 規律ある態度

「規律ある態度」の質問紙調査において、児童生徒の8割以上が「よくできる」「だいたいできる」と回答した項目数

## 体力

体力テストの結果を5段階絶対評価したうちの上位3段階に入る児童生徒の割合

# 「徳」における取組

## 自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業

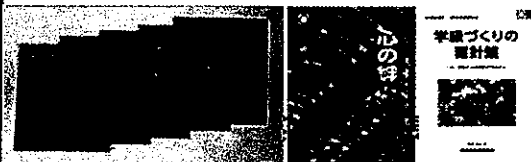
### 創意ある道徳教育の展開

#### 県独自の道徳教材「彩の国の道徳」

- ・H22年3月「彩の国の道徳」小学校低・中・高学年用、中学校用、高等学校用作成
- ・H23年3月「彩の国の道徳 心の絆」作成
- ・H25年3月「彩の国の道徳 学級づくりの羅針盤」作成

#### 【「彩の国の道徳」活用率】

	H24	H25	H26
小学校	99.6%	100%	100%
中学校	98.1%	100%	100%



#### 「彩の国の道徳」実践事例集

- 平成23年1月作成
- 道徳の時間と他の教育活動との関連を例示
- 「彩の国の道徳」の活用を通じた道徳教育の充実を図る、教員の研修のための資料



#### 【実践事例】

道徳授業と体験活動を結びつけた取組



〈駅前清掃〉

〈道徳の授業〉

### 教員の指導力の向上

#### 道徳授業「匠の技」伝承事業

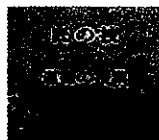
##### ○教師用の指導資料集等の作成

- ・H25年度小学校版教師用ガイドブック・DVD作成
- ・H26年度中学校版教師用ガイドブック・DVD作成

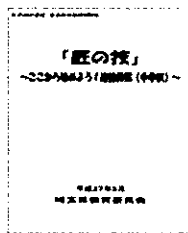
##### ○道徳スペシャリストの派遣等

道徳教育に見識の深い校長OB等の学校派遣による、校内研修や授業の支援

- ・H26年度23校に派遣
- ・H27年度48校に派遣予定



〈授業が収録されたDVD〉 〈教師用ガイドブック〉



### 学校・家庭・地域が一体となった取組

#### 家庭用「彩の国の道徳」

- ・H23年3月作成
- ・H27年3月改正
- ・県内の小中学校の児童生徒から各家庭に配布

#### 【活用例】

- ・保護者参加による授業の実施
- ・懇談会での話し合い



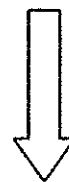
### 夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業

○多様な分野で活躍している方々を「心の先生」として学校に招いての講演会

- ・平成26年度：日本サッカー協会、埼玉西武ライオンズ、埼玉県犯罪被害者援助センター、埼玉県看護協会、地域で活躍する方等、43校で実施

### 教員に対する研修

- ・道徳教育研究協議会
- ・道徳教育パワーアップ研究協議会 等



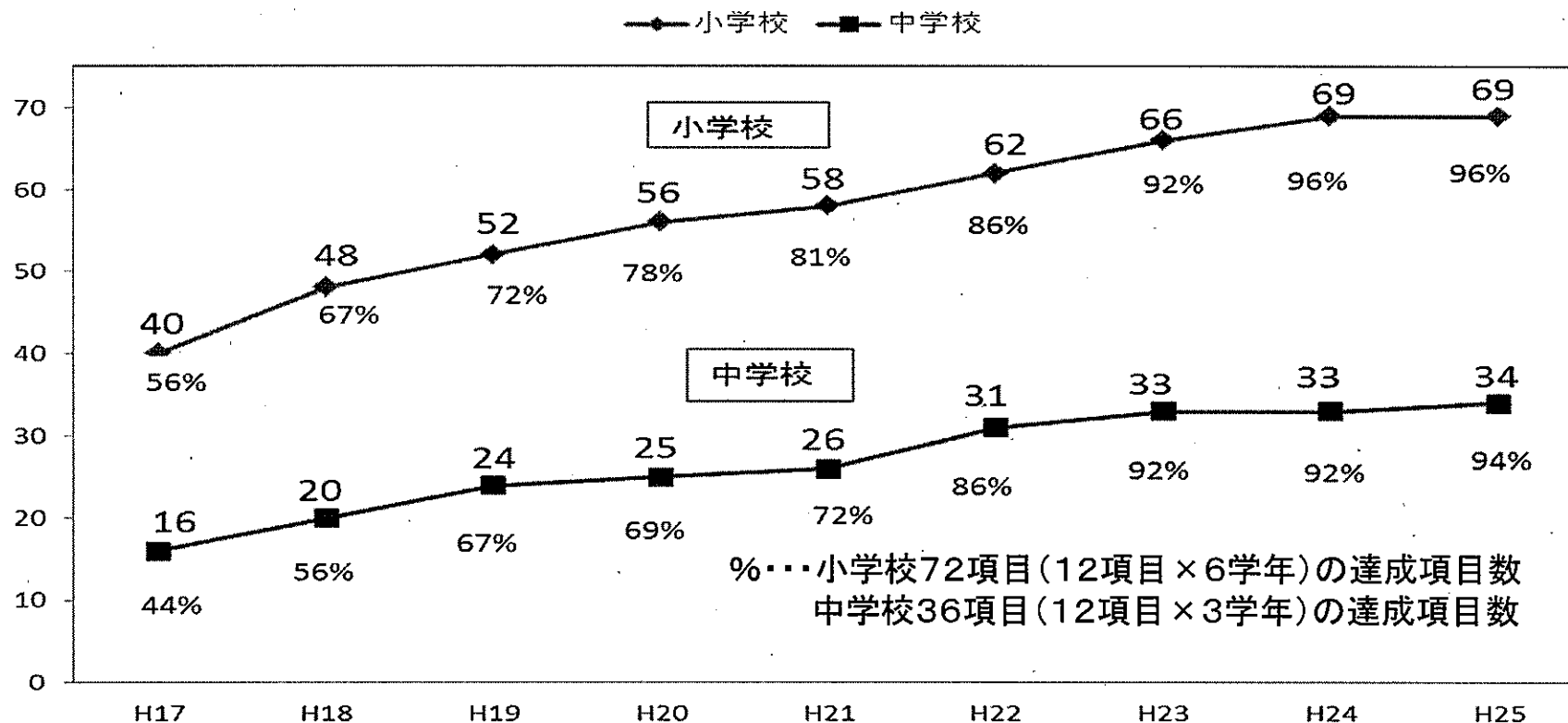
充実  
道徳教育の



夢や目標に向かってたくましく生きる  
ことができる子供たちを育てる

# 「徳」における現状

## 「規律ある態度」達成状況80%達成の項目数



### 「規律ある態度」の項目

・ 登校時間を守る	・ あいさつをする	・ 学習準備をする
・ 授業開始時刻を守る	・ 返事をする	・ 話を聞き発表する
・ 靴そろえをする	・ ていねいな言葉づかいをする	・ 集団の場での態度
・ 整理整頓をする	・ やさしい言葉づかいをする	・ 清掃・美化活動

# 子供たちのスマートフォン所持の現状とその対策

## スマートフォン所持の現状

### 【調査対象】

県内各公立小学校6年生、中学校2年生、高校2年生から1クラス抽出

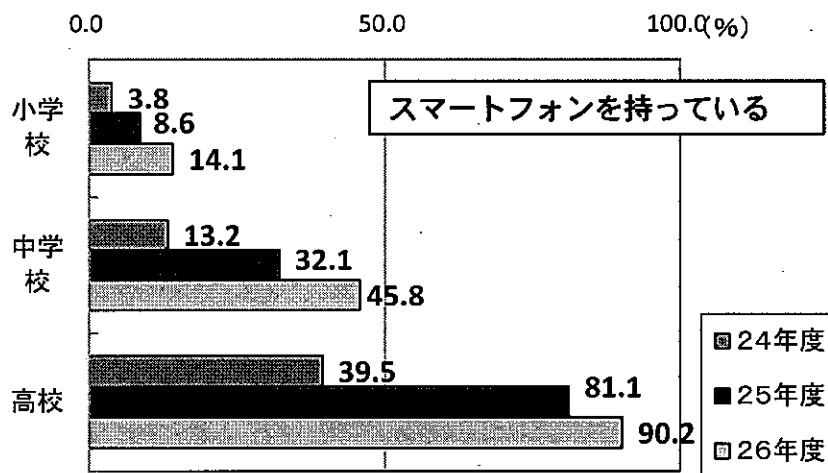
(児童生徒数: 小学校6年生24,281人、中学校2年生13,704人、高校2年生5,643人 計43,628人)

### 【調査期間】

平成26年6月27日～7月18日

## 現状

自分専用のスマートフォンを持っていますか？



児童生徒における携帯電話の利用状況等に関する調査結果より

## これまでのスマートフォン対策

○埼玉県青少年健全育成条例の改正  
(平成25年10月)

…スマートフォンによるインターネット上の有害情報の閲覧を制限するための対策(フィルタリング等)

### 【携帯電話事業者】

契約手続時

- ①無線LANに係るフィルタリング等の説明
- ②青少年又は保護者が行うフィルタリング等の導入を支援する努力義務

### 【保護者】

携帯電話事業者が実施する説明を聴く努力義務

○学校におけるスマートフォンを含む携帯電話等の取扱いについて、学校内の決まりを定めている割合(平成26年度)

- ◆小学校 803校(99%)
- ◆中学校 419校(100%)
- ◆高等学校 147校(100%)

## その他ネット問題対策

○実態の把握と分析(サイト監視、「ネットトラブル通報窓口への情報」)

○意識啓発のための取組(メールマガジンによる学校配信)

# 「体」における現状

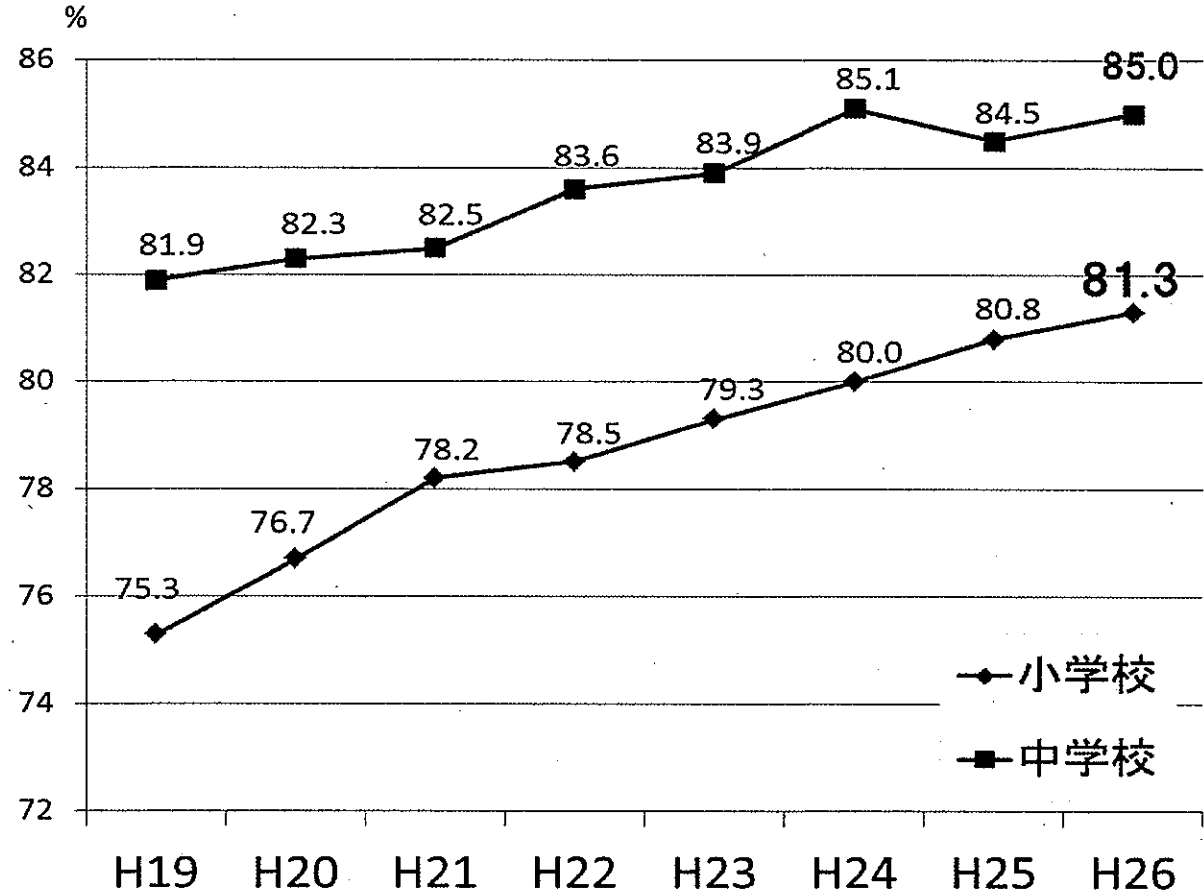
新体力テスト総合結果A+B+Cの児童生徒の割合の推移

## 小学校種目

握力 上体起こし  
 長座体前屈 反復横とび  
 20mシャトルラン  
 50m走 立ち幅とび  
 ソフトボール投げ

## 中学校種目

握力 上体起こし  
 長座体前屈 反復横とび  
 持久走  
 20mシャトルラン  
 50m走 立ち幅とび  
 ハンドボール投げ

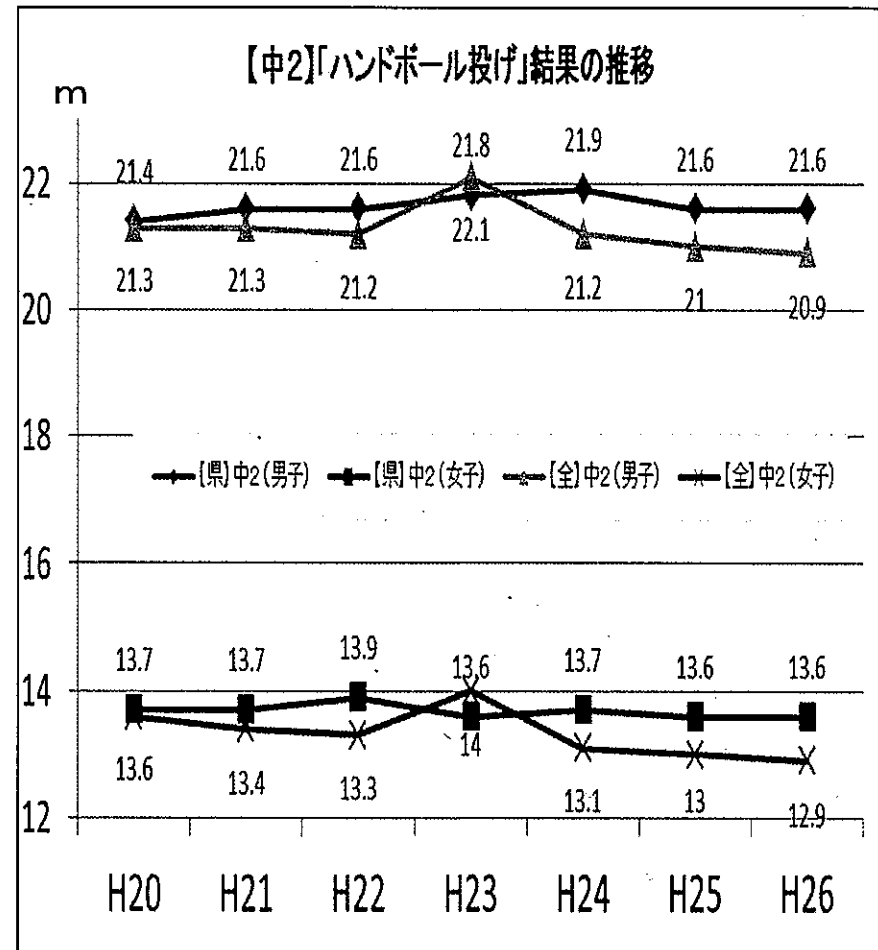
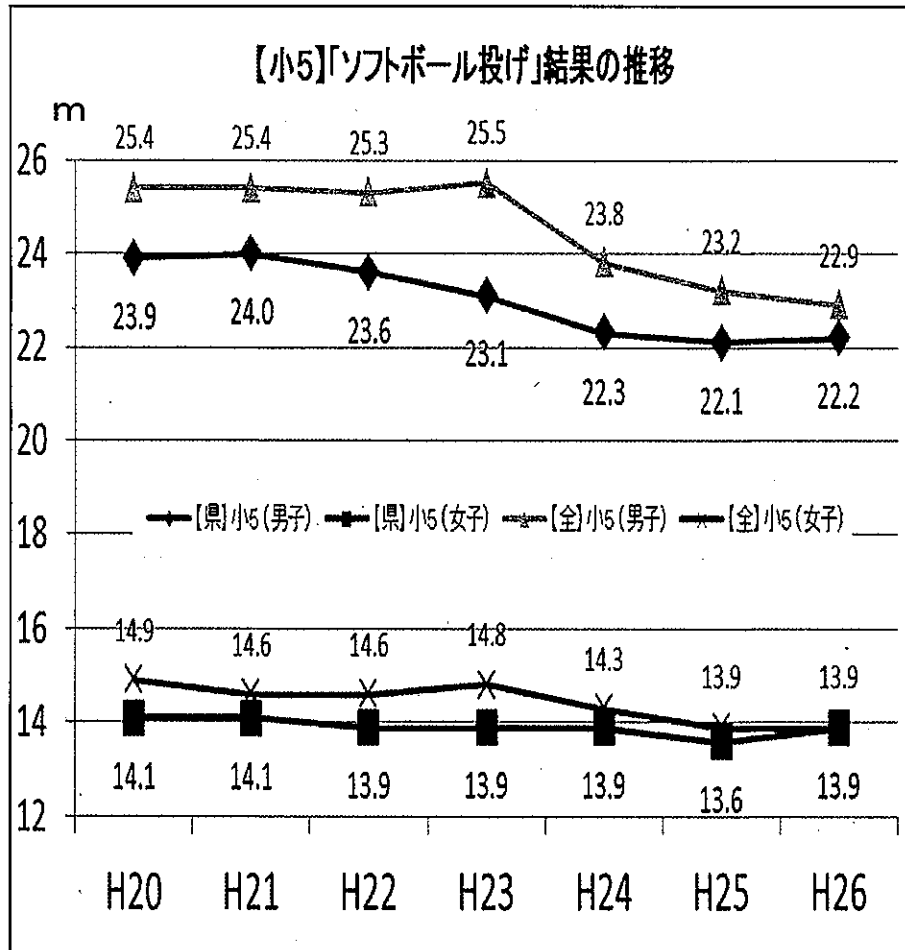


新体力テスト総合結果A+B+Cの児童生徒の割合

各種目の成績を点数化し、A(高)～E(低)の5段階で総合評価。その上位3段階のA～Cの児童生徒数を足し合せた人数の総人数に対する割合。

# 「体」における課題(ボール投げ)

## ボール投げの推移

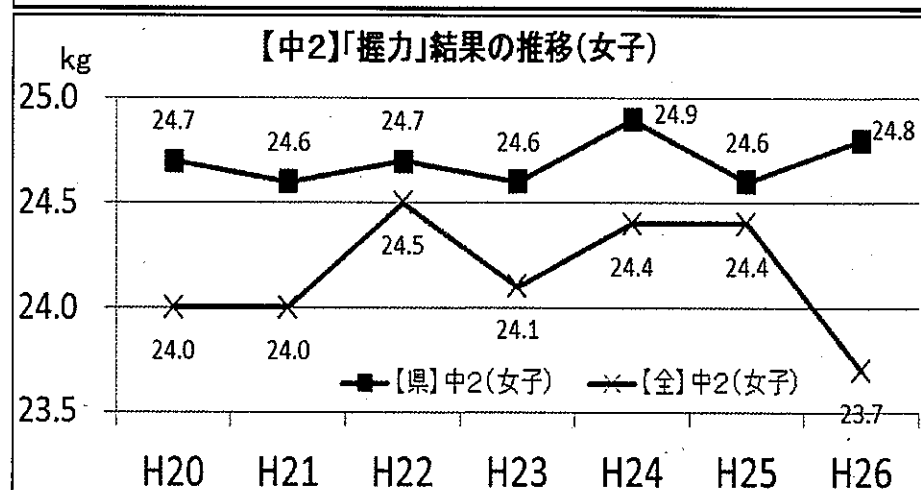
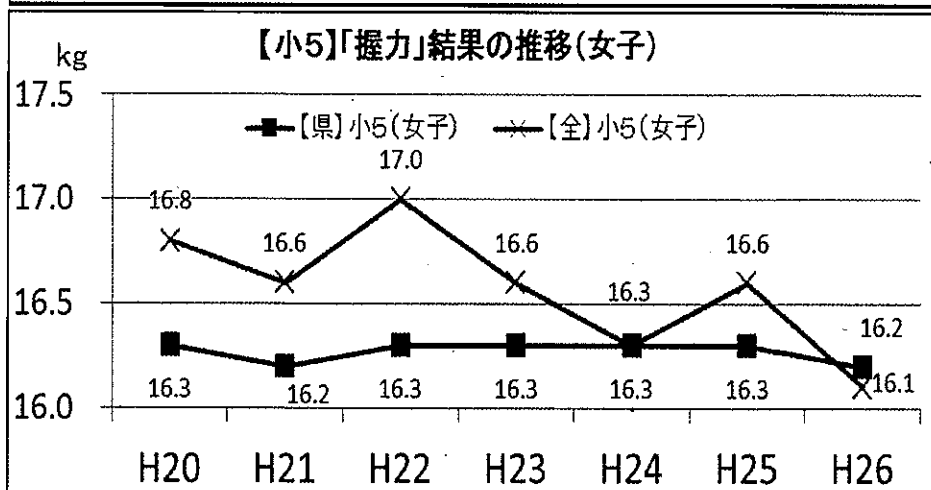
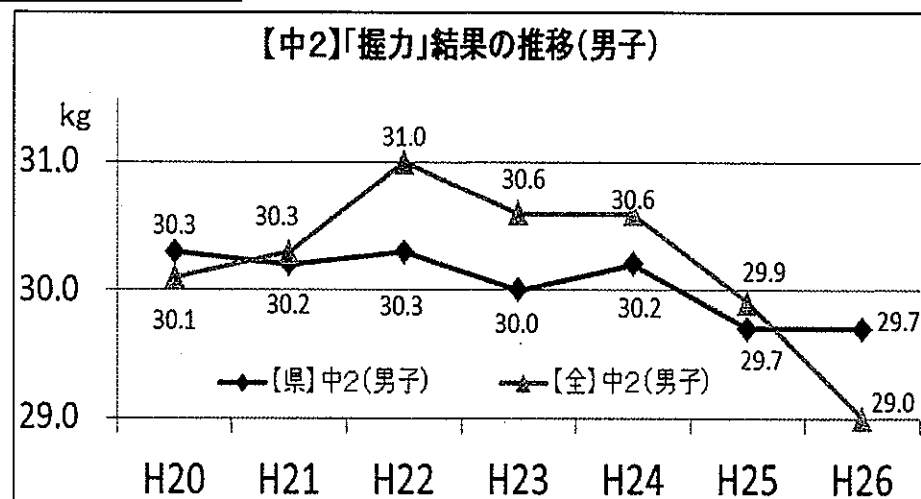
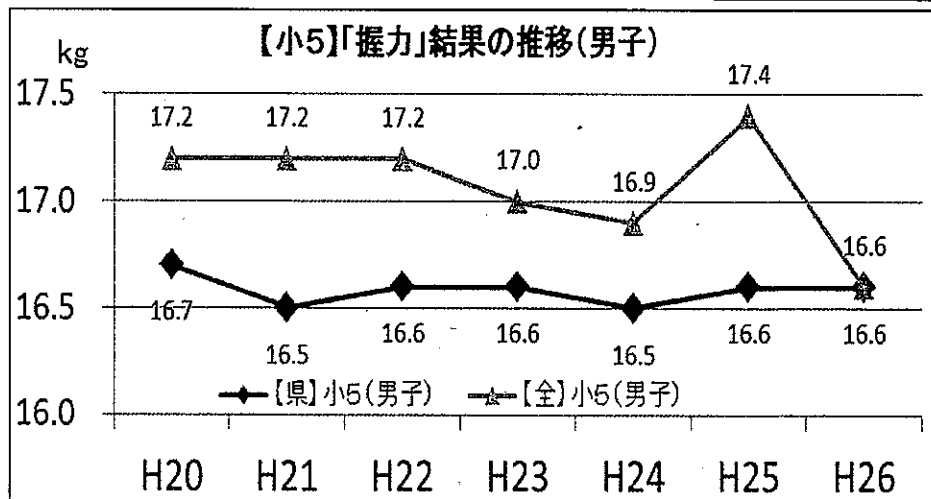


(考察)

- ・平成20年度と平成26年度を比較すると、小学校5年生男子を除いては、ほとんど横ばい状態である。
- ・しかし、全国平均値が下がっている中、埼玉県はほぼ横ばい状態のため、全国順位は確実に上がっている。
- ・小学校5年生(特に男子)は低位な数値を示しており、依然として課題であり、引き続き指導に取り組んでいく。

# 「体」における課題(握力)

## 握力の推移



(考察)

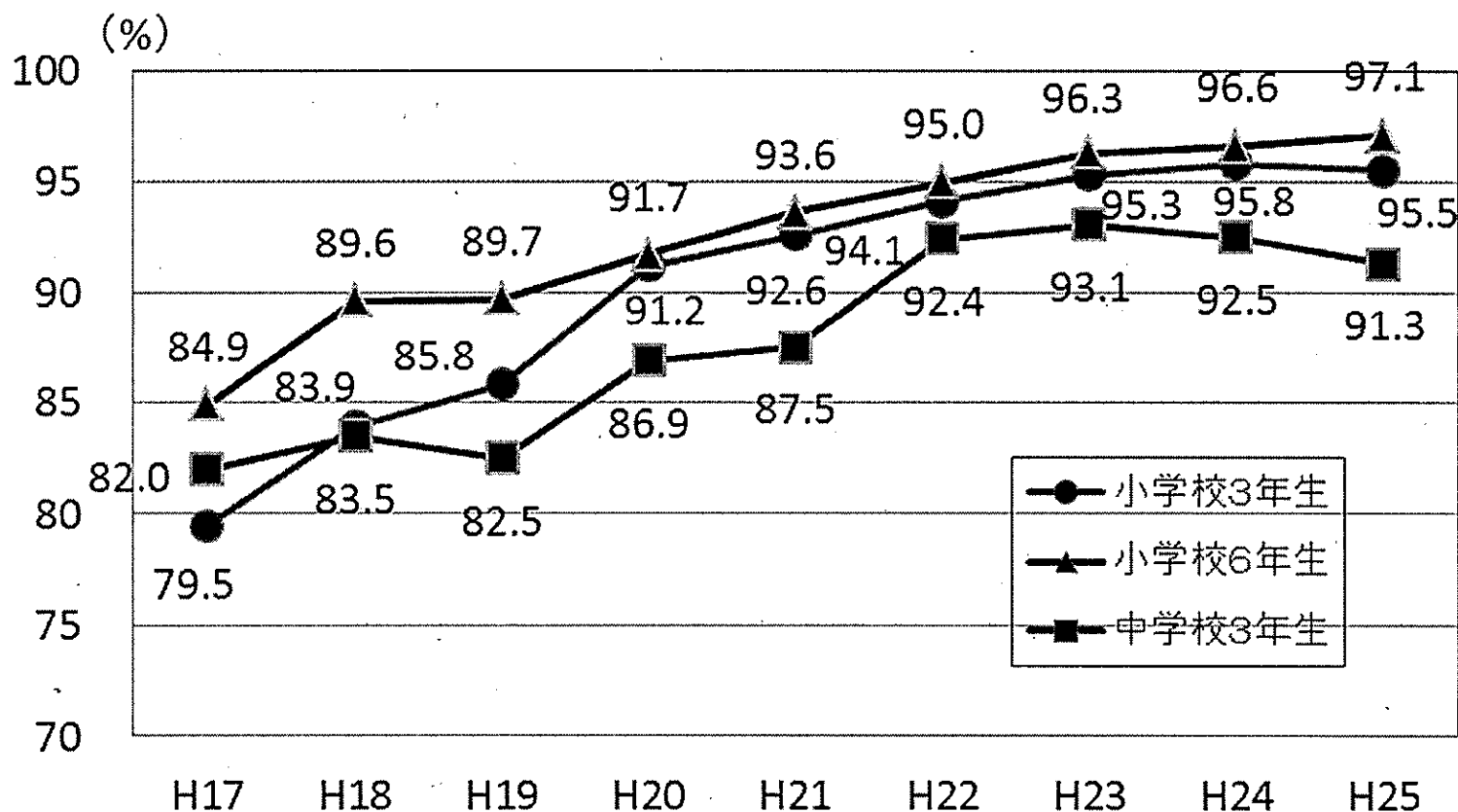
- ・平成20年度と平成26年度を比較すると、数字上は、ほとんど横ばい状態である。
- ・しかし、全国平均値が下がっている中、埼玉県はほぼ横ばい状態のため、全国順位は確実に上がっている。



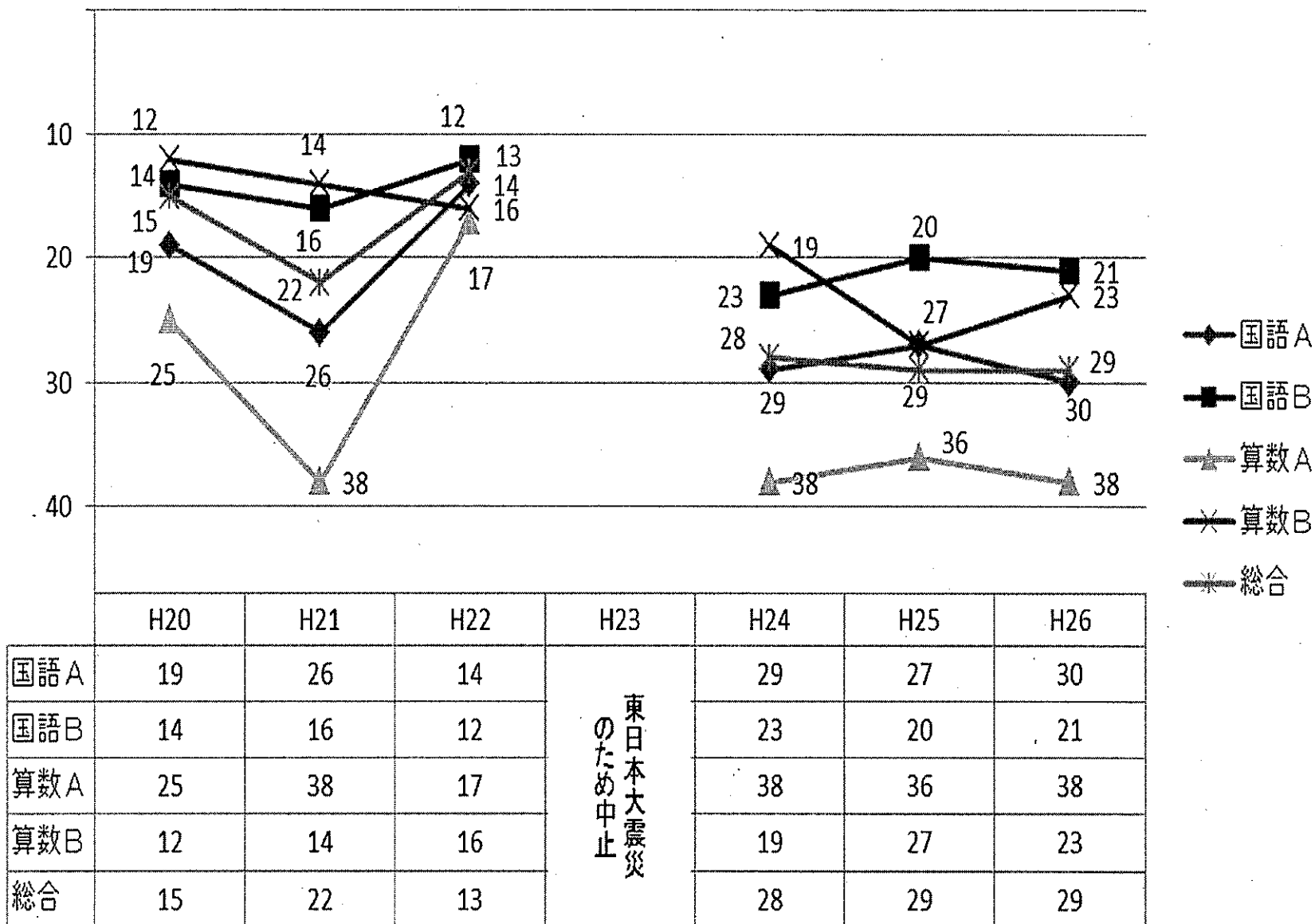
# 「知」における現状

「教育に関する3つの達成目標」における基礎学力定着度(推移)

網掛けは目標値(95%)以上		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
学力	小3	79.5	83.9	85.8	91.2	92.6	94.1	95.3	95.8	95.5
	小6	84.9	89.6	89.7	91.7	93.6	95.0	96.3	96.6	97.1
	中3	82.0	83.5	82.5	86.9	87.5	92.4	93.1	92.5	91.3

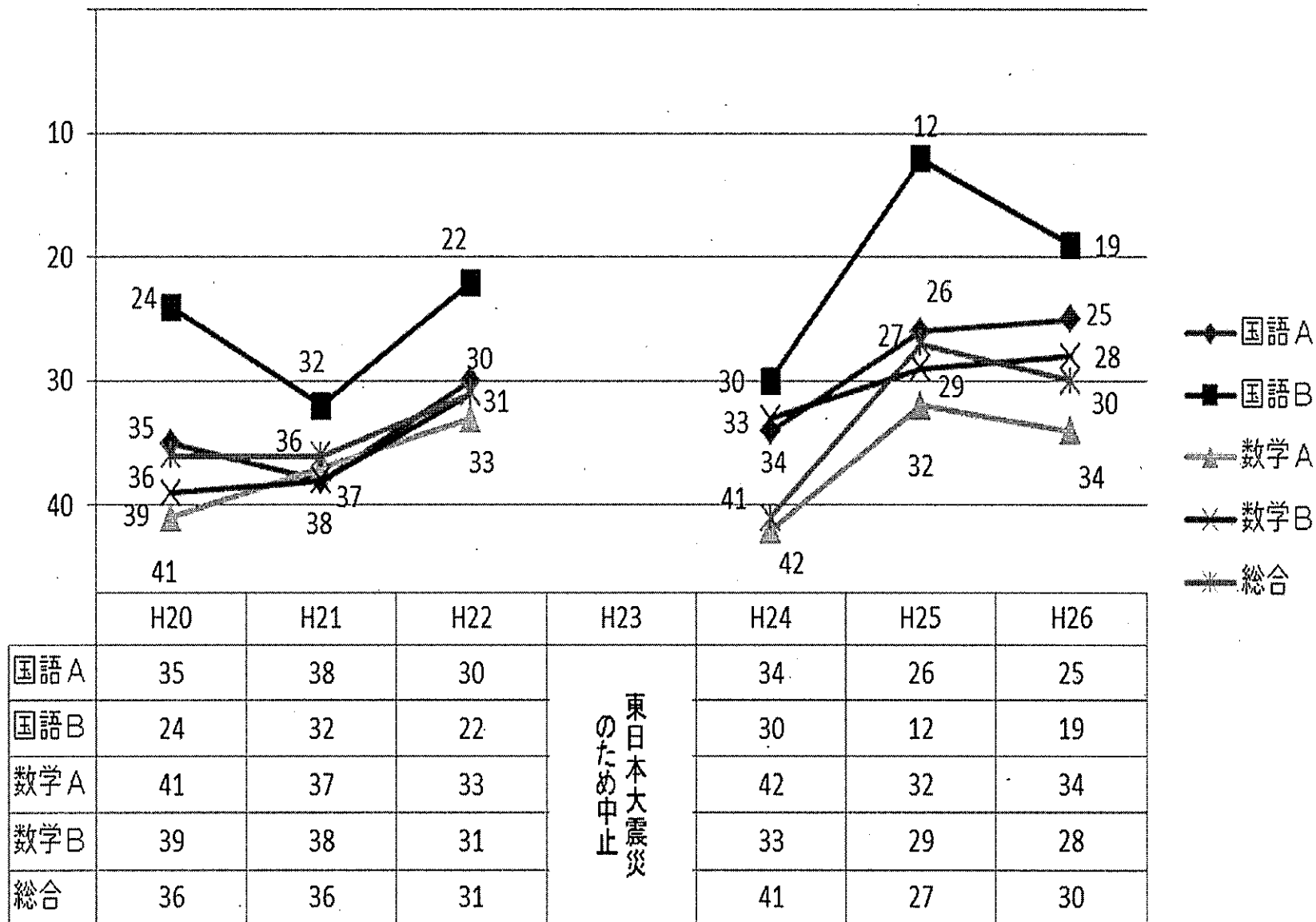


# 全国学力・学習状況調査の全国順位(小6)



1-4-2 全国学力・学習状況調査の全国順位(小6)

# 全国学力・学習状況調査の全国順位(中3)



# 「知」における取組

## 学力・学習状況調査事業の概要

～一人一人の伸びを可視化する全国初の取組～

従来の調査

### 学力の定点調査

平均との比較ができる。

#### ○埼玉県学習状況調査

(対象)

・小学校5年生、中学校2年生

(教科)

・国語、社会、算数・数学、理科、  
英語

#### ○3つの達成目標基礎学力定着度

・小学校1年生～中学校3年生

・「読む・書く」、「計算」の基礎・基本

充実

新

平成27年度から

埼玉県学力・学習状況調査

### 一人一人の学力の 追跡調査

全国初

平均との比較

＋過去の自分との比較ができる。

#### ○埼玉県学力・学習状況調査

(対象)

・小学校4年生～中学校3年生

(教科)

・国語、算数・数学、英語

# これまでの不登校対策全体像

## 総合的な不登校対策



○ 安心して通うことができる学校づくり

○ 一人一人の状況に応じた支援

### ○ 5か年計画（目標）

小学校 950人以下（平成28年度）

中学校 4,500人以下（平成28年度）

### ○ 教育振興基本計画（目標）

小学校 0.19%以下（平成30年度）

中学校 2.01%以下（平成30年度）

### ～不登校の未然防止、早期発見・早期対応に向けて～

- 教育相談体制の整備・充実
  - ・組織的な支援体制の構築
  - ・関係機関との連携
- 早期の実態把握と対応
  - ・児童生徒の状況を早期把握
  - ・個に応じた的確な支援
- 小中学校9年間を見通した支援体制の構築
  - ・県からの情報提供
  - ・学校間交流の促進

### 生徒指導モデル校の取組

#### ～小学校と中学校の連携～

- ・生徒指導対応教員の配置（H5～）
- ・生徒指導研究推進モデル校における小中兼務発令の実施（小中連携の強化）
- ・モデル校連絡協議会の開催（H12～）

### いじめ・不登校対策相談事業 ～教育相談体制の充実～

- ・スクールカウンセラーの配置（H13～）
- ・スクールソーシャルワーカーの配置（H20～）
- ・スチューデントサポーターの派遣（H8～）
- ・中学校配置相談員助成事業（H8～）
- ・精神科医の配置（H1～）

### 教育相談事業（総合教育センター）

#### ～個別の相談対応～

- ・24時間365日体制の電話教育相談を実施（H19～）
- ・面接による教育相談の充実

### いじめ対策等生徒指導 推進事業（委託）

#### ～複雑・多様化する 問題行動等への対応～

- ・生徒指導上の諸課題に適切・効果的に対応するための方策等に関する調査研究

### 教員研修の充実

#### ～総合教育センターとの連携～

- ・生徒指導・教育相談研修会の実施
- ・年次研修等において生徒指導に係る研修を実施（H1～）

### 児童生徒支援のための 官民連携会議

#### ～民間・学校・行政の連携～

- ・民間関係機関・学校・行政等が連携し、不登校児童生徒及びその保護者に対する支援を検討（H20～）

### 家庭へのはたらきかけ

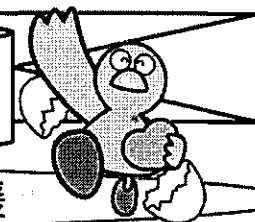
#### ～不登校の子を持つ 保護者への支援～

- ・保護者と教員のための不登校セミナーの開催（H20～）
- ・教育支援センター（適応指導教室）との連携



# これまでの中途退学対策全体像

## 中途退学防止対策



○高校生活での目的意識・自己有用感の高揚

○生徒の社会的・職業的自立を支援

### ○5か年計画（目標）

公立高校1年生の中途退率・数  
2.7%（平成28年度）  
1,000人以下（平成28年度）

### ○教育振興基本計画（目標）

公立高校における中途退学率  
全日制 1.0%以下  
定時制 11.7%以下

### ～中途退学の防止、社会的・職業的な自立に向けて～

- 目的意識を醸成するための体験活動
  - ・自己有用感
  - ・人間関係の構築
- 教育相談体制の整備・充実
  - ・スクールカウンセラー（26校）※全日制・定時制
  - ・スクールソーシャルワーカー（8校）※定時制
  - ※すべての定時制高校に派遣可能な体制を整備
  - ・高校相談員の配置（10校）
- 地元や外部機関との連携した体験活動の実施
  - ・ソーシャルスキルトレーニング
  - ・定時制高校での就労体験（3校）
  - ・自立支援プログラム ※金銭基礎教育等の実施

### いじめ・不登校対策相談事業

#### ～教育相談体制の充実～

- ・スクールカウンセラーの配置 H18～
- ・スクールソーシャルワーカーの配置 H24～
- ・高校相談員の配置 H20～

### H17～

#### 教育局内中途退学防止対策連絡会議

##### ～各課の壁を越えた連携の構築～

- ・年複数回の会議実施
- ・中途退学防止に向けた各課での取組成果や課題を共有

### H18～

#### 自分発見！高校生感動体験プログラム事業(全日制16校)

##### ～1年生を対象に体験活動を実施～

- ・就労体験（5日間）
- ・社会貢献（3回以上）

### H26～

#### 課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン(定時制)

##### ～定時制高校生の社会的自立を支援～

- ・NPOや地域の力を活用
- ・中途退学防止に係る定時制意見交換会の実施
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカーの配置

### H25～ 高校生活に関する相談会

#### ～中途退学の未然防止や中途退学後の生活などの悩みに対応～

- ・年2回の実施(7月・1月)
- ・教育局と地域サポートステーションの職員が保護者や生徒の相談に対応

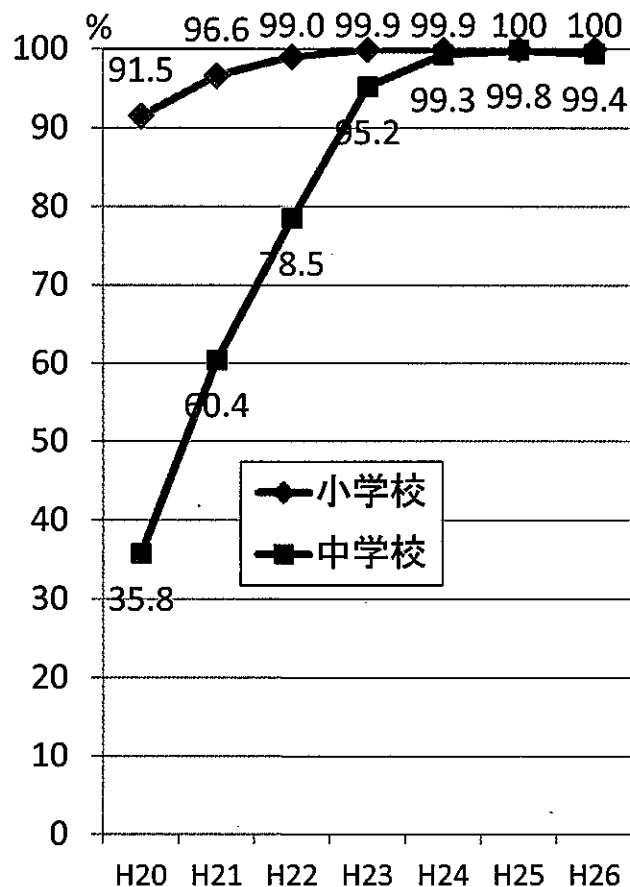


# 「埼玉の子ども70万人体験活動」「埼玉県みどりの学校ファーム」の実施状況

県内のすべての公立小・中学校で様々な体験活動を実施  
(平成19年度以降の実施率100%)

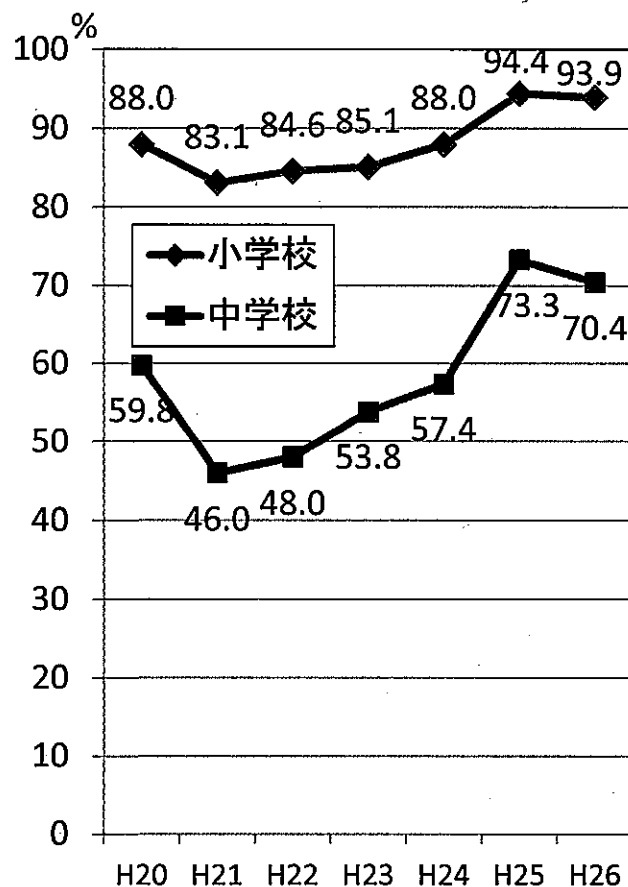
## 学校ファームの実施率

県内公立小中学校における農業体験活動の実施率



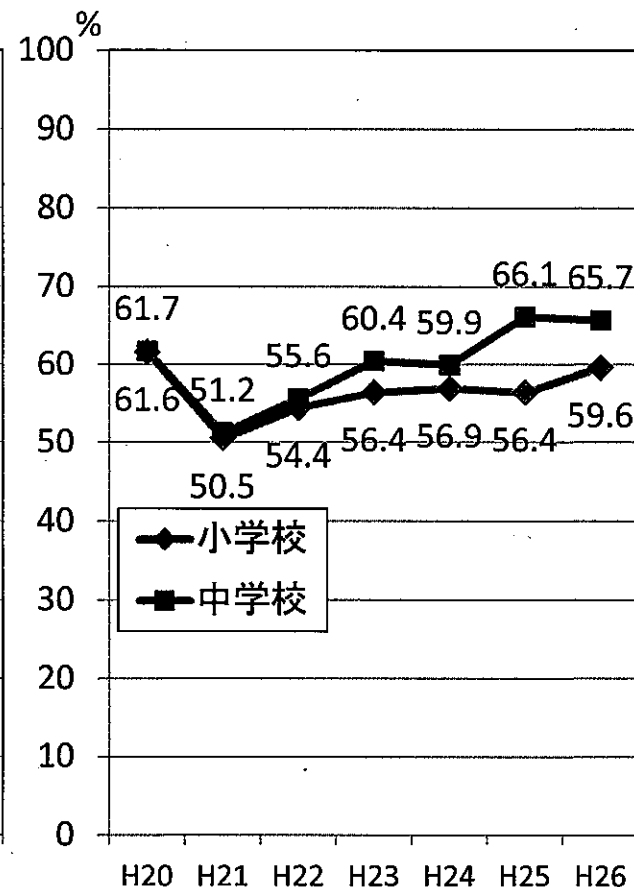
## 交流体験の実施率

異校種間、高齢者・障害者・外国人等との交流等



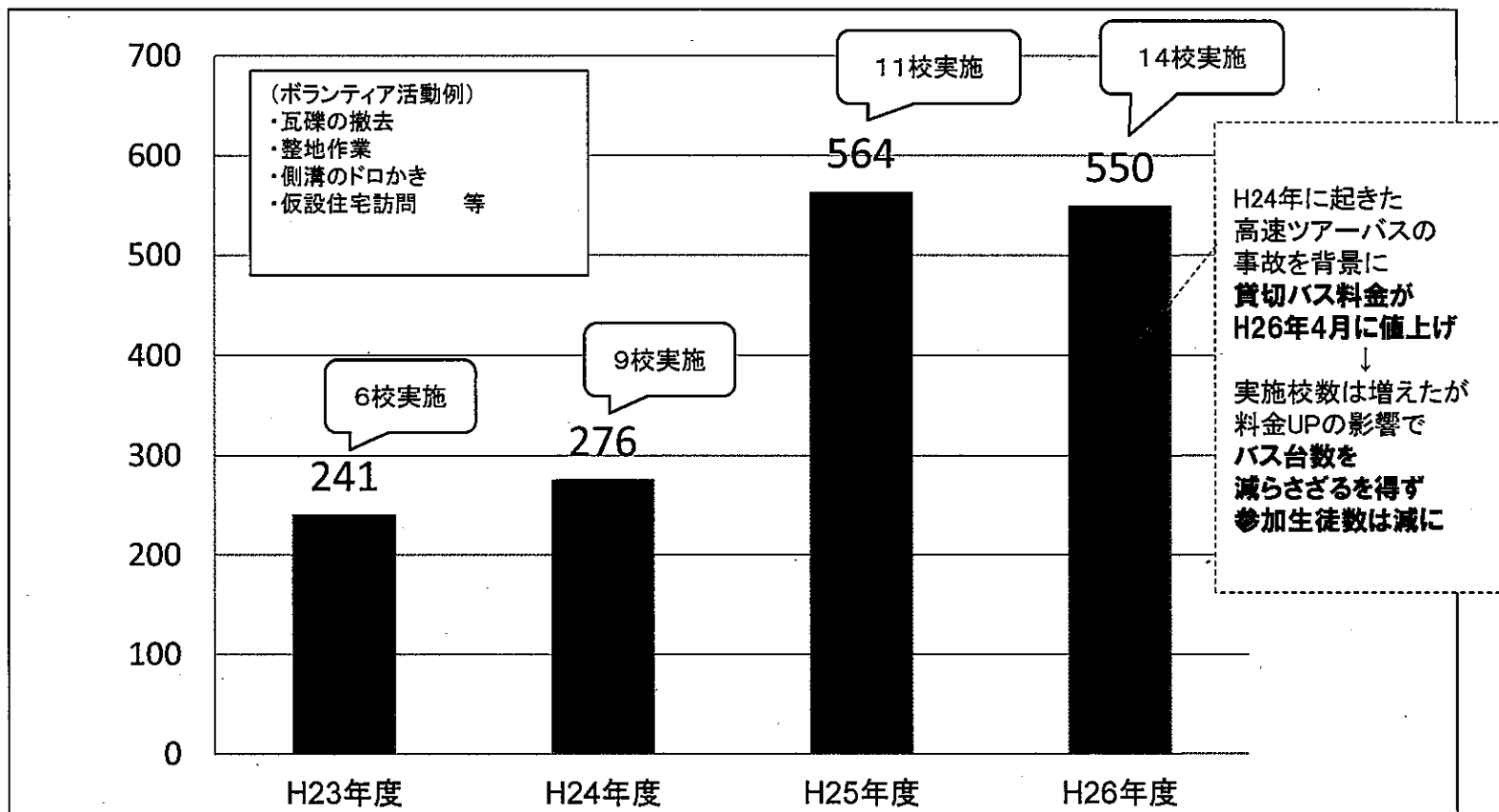
## 社会奉仕体験の実施率

通学路等の清掃美化活動、施設での介護体験等



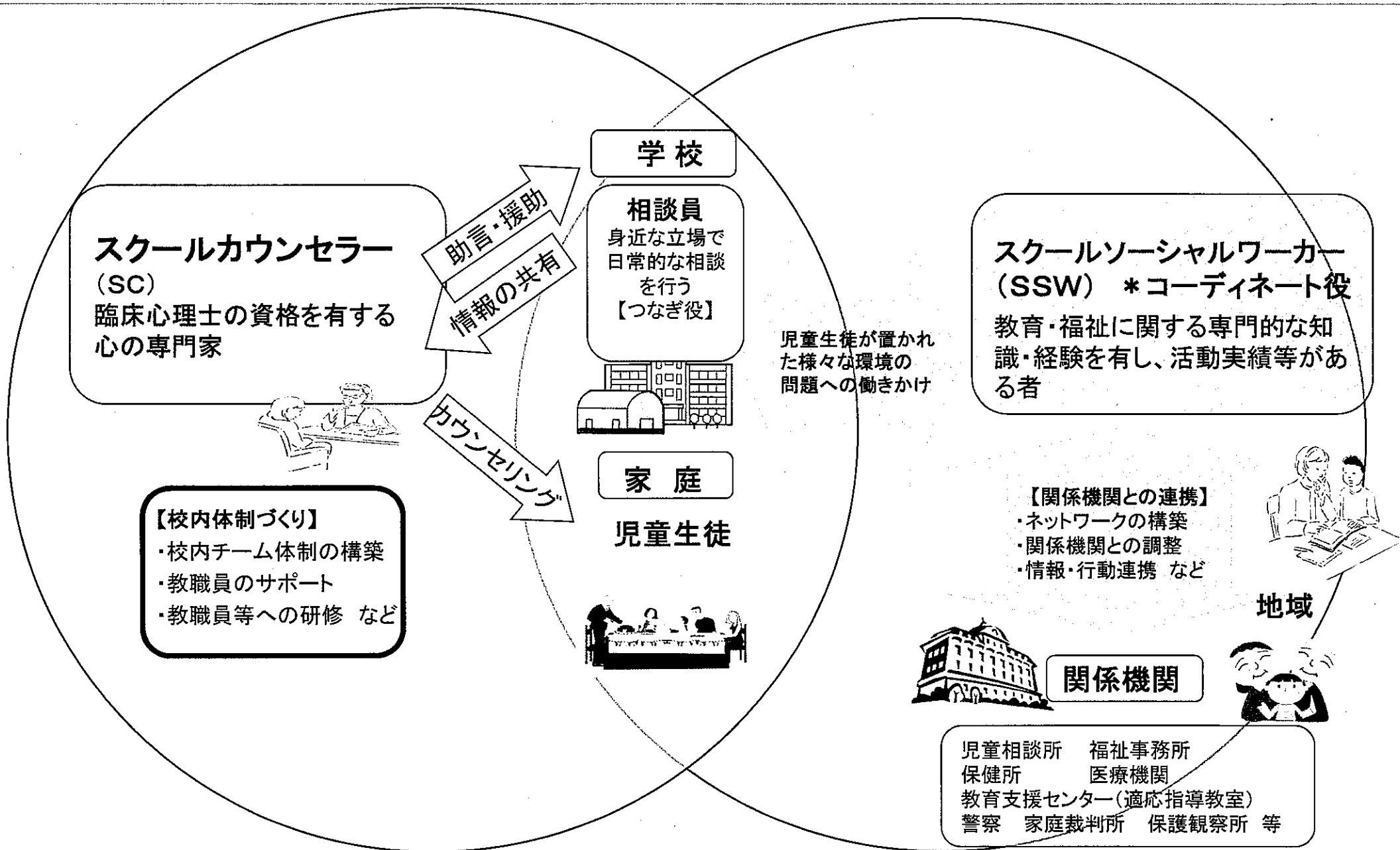
# 学校活動として被災地ボランティアに参加した高校生徒数

学校活動として被災地ボランティアに参加した高校生徒数





# スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び相談員の関係図



2-1-5 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び相談員の関係図

# スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置による成功例

## スクールカウンセラー(SC)の配置による成功例

### 【事例】中3で不登校の生徒A

- ・ 中2の秋に不登校となる。自宅にひきこもり、母親以外には言葉を発しなくなった。
- ・ 学校は当初から家庭訪問（担任・教育相談担当等）

精神症状の発現  
保護者も対応に困惑

校長はSCと連携した支援体制が必要と判断

### SCの取組

【校内支援体制のサポート】教育相談部会、教員・相談員との相談

#### 【保護者とつながる】

- ・ Aの状況や対応について、特に困惑している母親へのカウンセリングを行う。
- ・ 両親と定期的、継続的な面談を実施し、Aの状況把握をするとともに家庭における支援についての助言をする。

#### 【外部とつながる】

- ・ 学校復帰の足がかりの場としての教育支援センターを利用するため、教育支援センターと情報交換や調整を行う。
- ・ 医療機関や保健機関との連携や接続に向けて、情報交換や調整を行う。

医療的対応が必要なことが判明

### 【成果】引きこもりから脱する！

- ・ 母親とともに教育支援センターへ通うようになる。
- ・ 中3になってからは相談室への登校や学校行事にも参加するようになる。

### 主な活動

- 【医療・福祉機関との接続】
- 【校内支援体制の構築・サポート】
- 【相談活動】
- 【教職員等への研修】

## スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置による成功例

### 【事例】中1で不登校の生徒B

- ・ 給食費等の滞納、衣服の汚れなどから気になる家庭状況
- ・ 学校は早期から家庭訪問等、保護者へ連絡

経済的困窮の疑い  
保護者の養育への意識の低さ

校長はSSWと連携した支援体制が必要と判断

### SSWの取組

【校内支援体制のサポート】ケース会議、教員・相談員との相談

#### 【保護者とつながる】

- ・ 両親と面談をし、養育や生活面の不安についての相談を受けるとともに、家庭におけるBの支援についての助言をする。
- ・ 就学援助や生活福祉資金貸付、生活保護等の情報提供や手続きをサポートする。

#### 【外部とつながる】

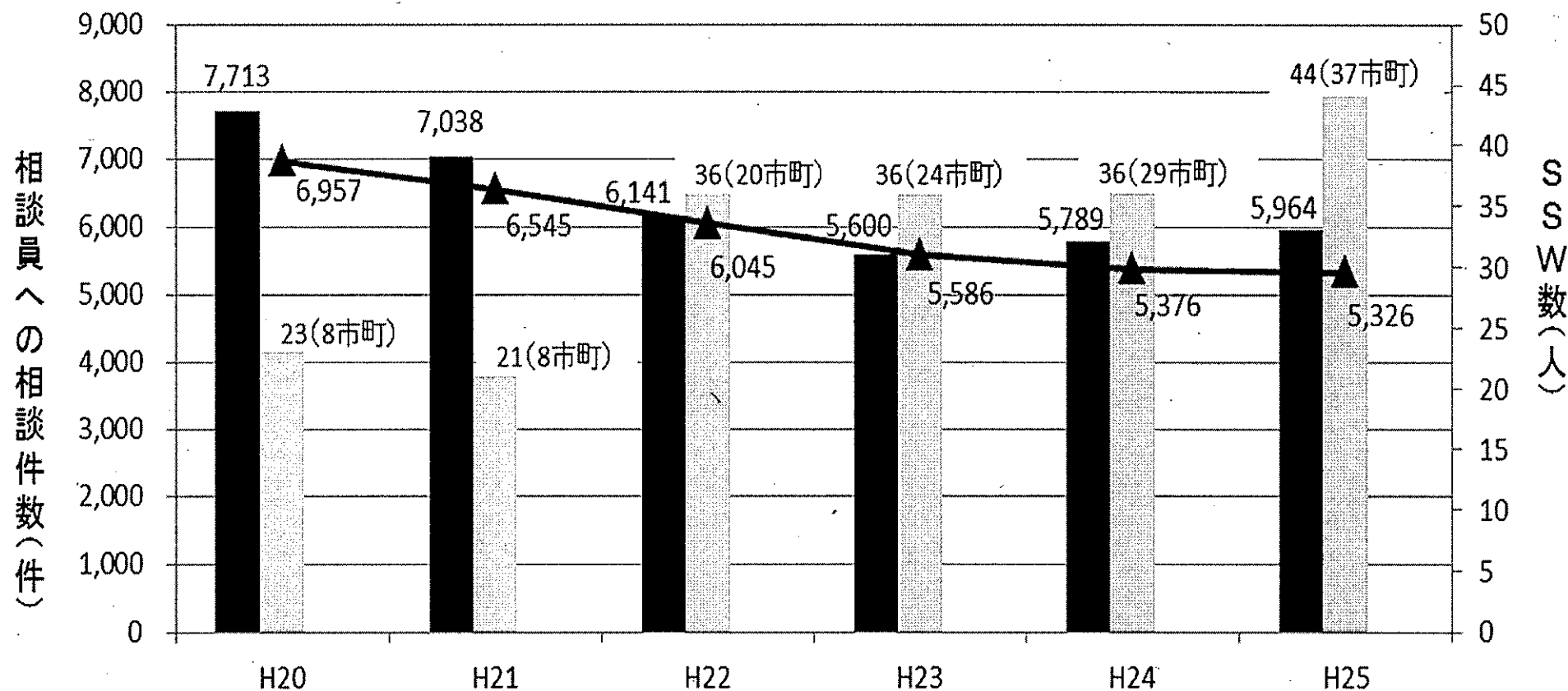
- ・ 教員と民生委員との連携による継続的な家庭訪問をサポートする。
- ・ 児童相談所へ養育状況についての情報提供を行う。
- ・ 市役所の福祉課等と情報交換をしながら支援可能な福祉サービスについての相談をする。

経済的困窮が原因であることが判明

### 【成果】登校日数が増える！

- ・ 保護者は就学援助を申請する。
- ・ 保護者と連携してBの登校支援ができるようになる。

## 中学校配置相談員への相談件数・SSWの人数と 小中学校児童生徒不登校数の推移



### 【相談員勤務形態】(助成の上限)

- ・中学校1校当たり週5日以内
- ・1日当たり5時間以内
- ・助成率6/10(H23～)
- ※H19より全校配置

### 【SSW勤務形態】

- ・週当たり2日、年間90日
- ・1日当たり6時間
- ※H20から事業開始

■ 中学校配置相談員への相談件数

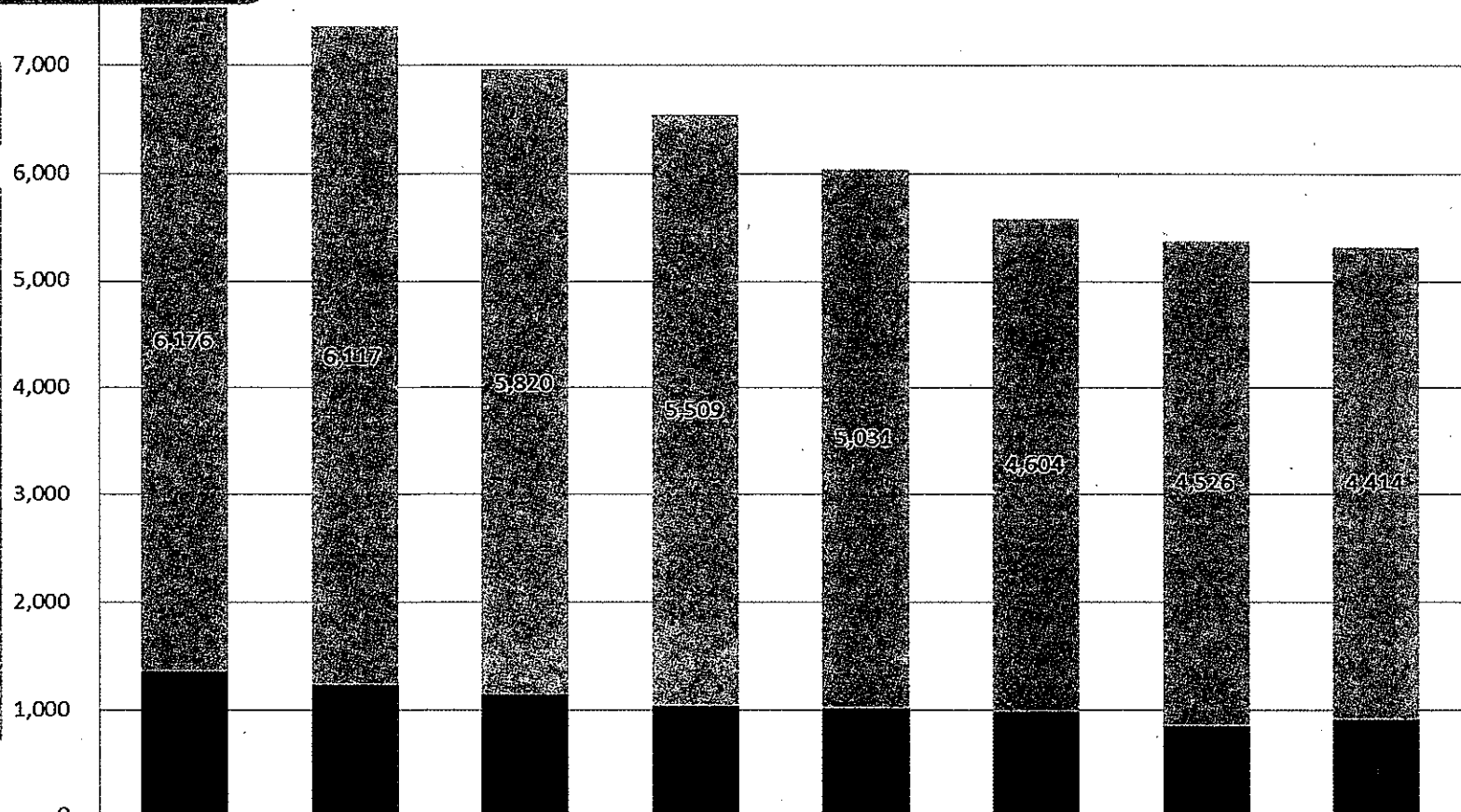
▨ SSW人数

▲ 不登校児童生徒数

# SC中学校全校配置後の不登校数の推移(小・中学校)

平成17年度から  
スクールカウンセラーを  
中学校全校に配置

- 【学校の取組】**
- 出欠状況の精査と対応
  - 不登校要因の精査・分析
  - 校内体制の整備
  - 継続的な連絡や家庭訪問
  - 学級経営の充実

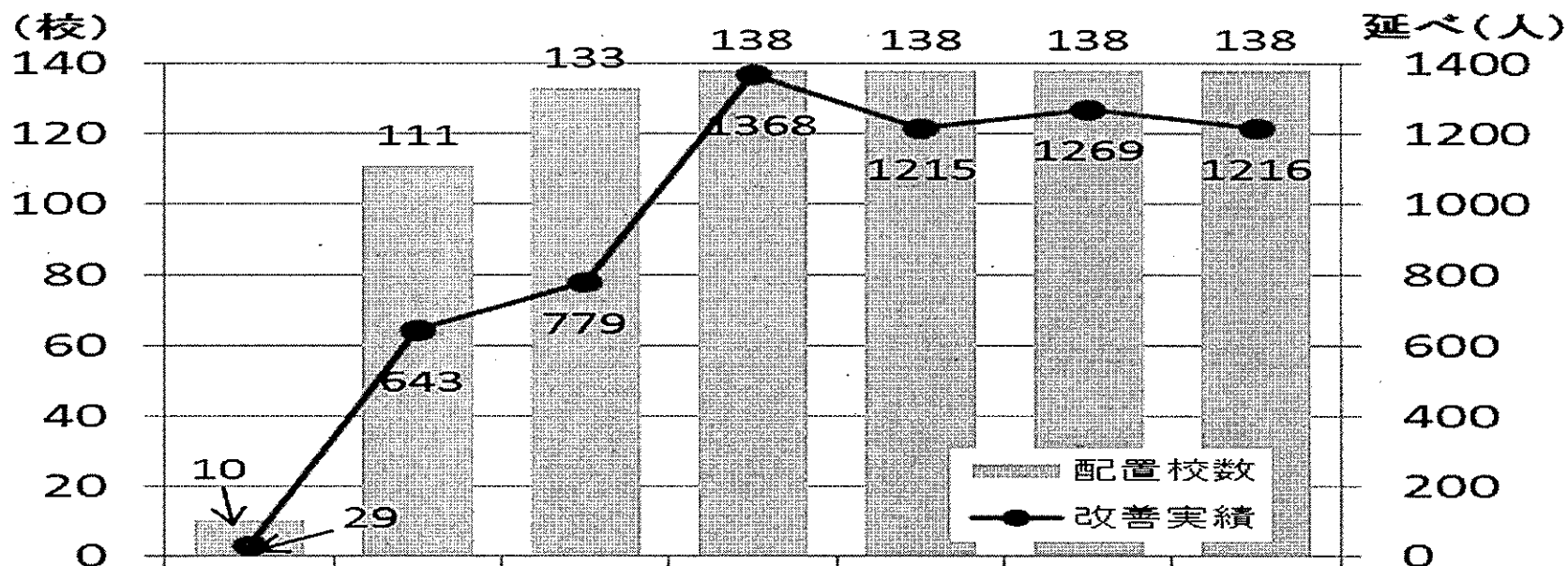


	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
■ 不登校生徒数(中)	6,176	6,117	5,820	5,509	5,031	4,604	4,526	4,414
■ 不登校児童数(小)	1,358	1,238	1,137	1,036	1,014	982	850	912

2-2-2 SC中学校全校配置後の不登校数の推移(小・中学校)

# 小1問題対応非常勤講師配置とその成果

【課題】就学前に基本的な生活習慣が身に付いていなかったり、しつけができていなかったりする小学校1年生が在籍することで、集団生活に対応できない、授業が成立しないなどの問題（いわゆる小1プロブレム）を抱える学校への対応の必要性。



年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
全小学校数	717	716	716	715	712	711	710
課題のある児童数	48	1727	1116	2039	1705	1831	1900

## 改善事例

- 座って授業を受けることができるようになった。
- 身の回りの整理整頓ができるようになった。
- 教師の指示に従うことができるようになった。
- 他の児童に迷惑を掛けなくなった。

※ 「改善実績」とは、配置校において課題のある児童数(延べ人数)の内、改善された児童数(延べ人数)。

※ 実績は11月までの集計(平成20・21年度は9月まで)

# これまでの高校再編整備の実績

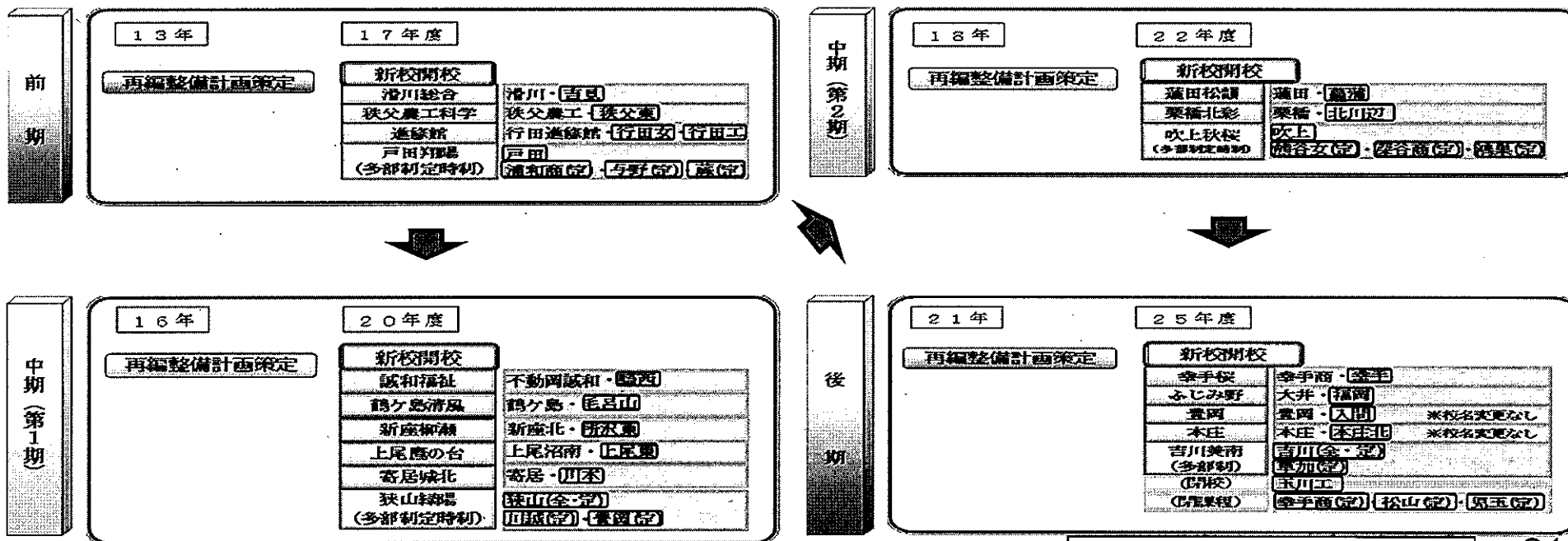
## 再編整備による学校数の推移

※ 後期計画で開校した吉川美南高校は、全日制、多部制の両方でカウントしている。

	平成11年度 (計画当初)	前期計画 (13年度策定)	中期(1期)計画 (16年度策定)	中期(2期)計画 (18年度策定)	後期計画 (21年度策定)	平成27年度 学校数
全日制		148校(△5)	142校(△6)	139校(△3)	134校(△5)	
夜間定時制		28校(△3)	25校(△3)	22校(△3)	17校(△5)	
多部制等		3校(+1)	4校(+1)	5校(+1)	6校(+1)	

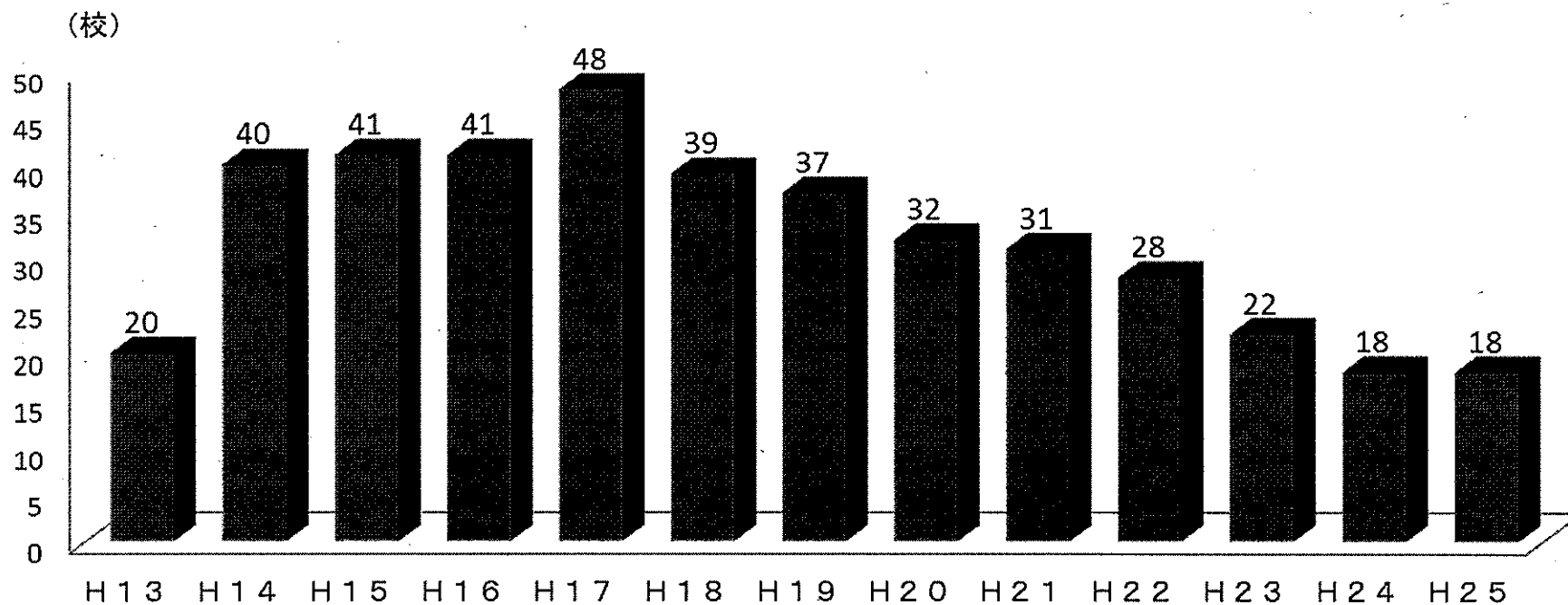
## 再編整備で開校した特色ある新校

□ は、統合により廃止となった高校、又は課程である。



# これまでの高校再編整備の成果

## 募集学級数が5学級以下の公立高校数

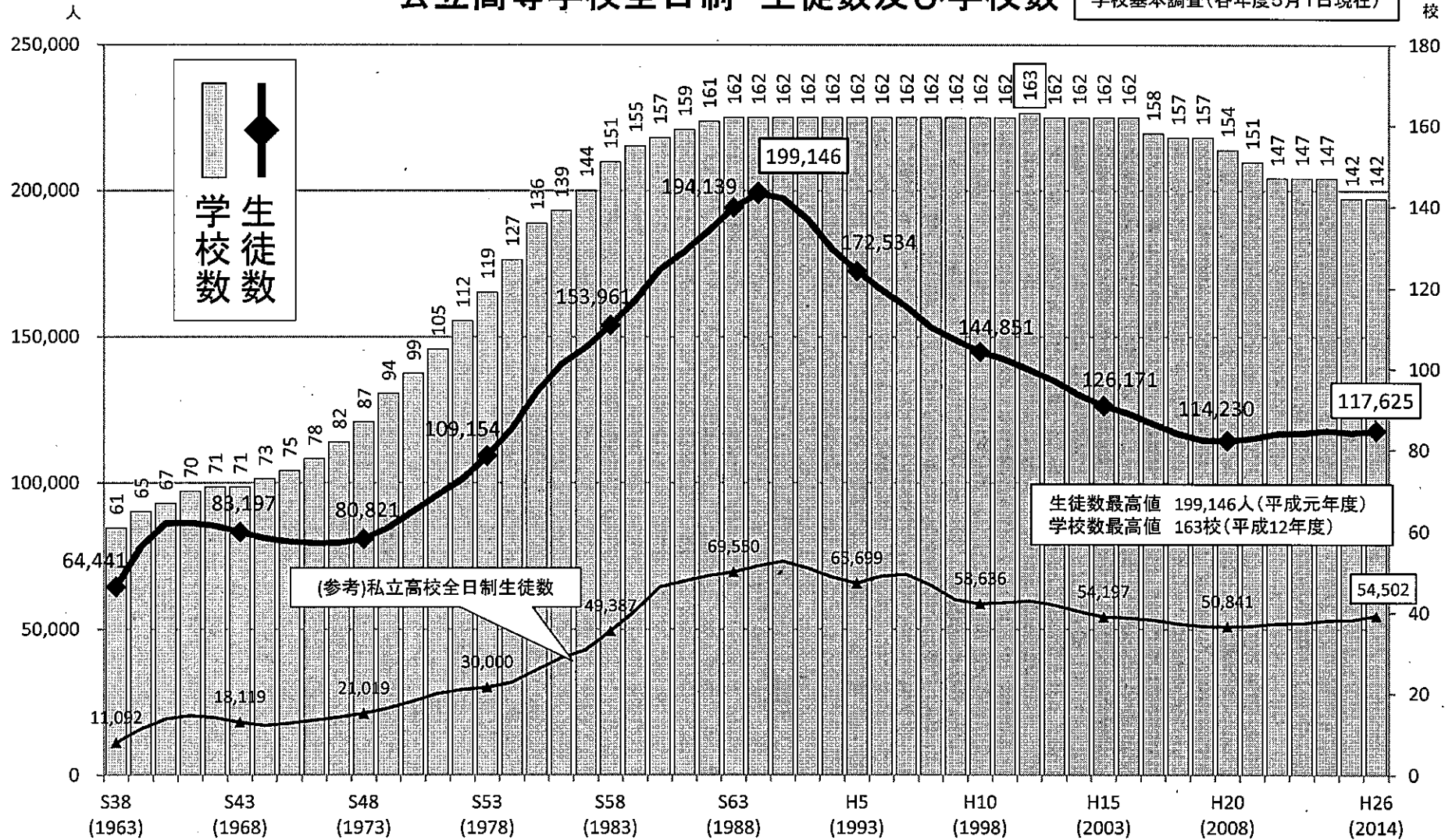


(市立高校・吉川美南高校・常盤高校は除く)

# 公立高等学校全日制の生徒数・学校数の推移

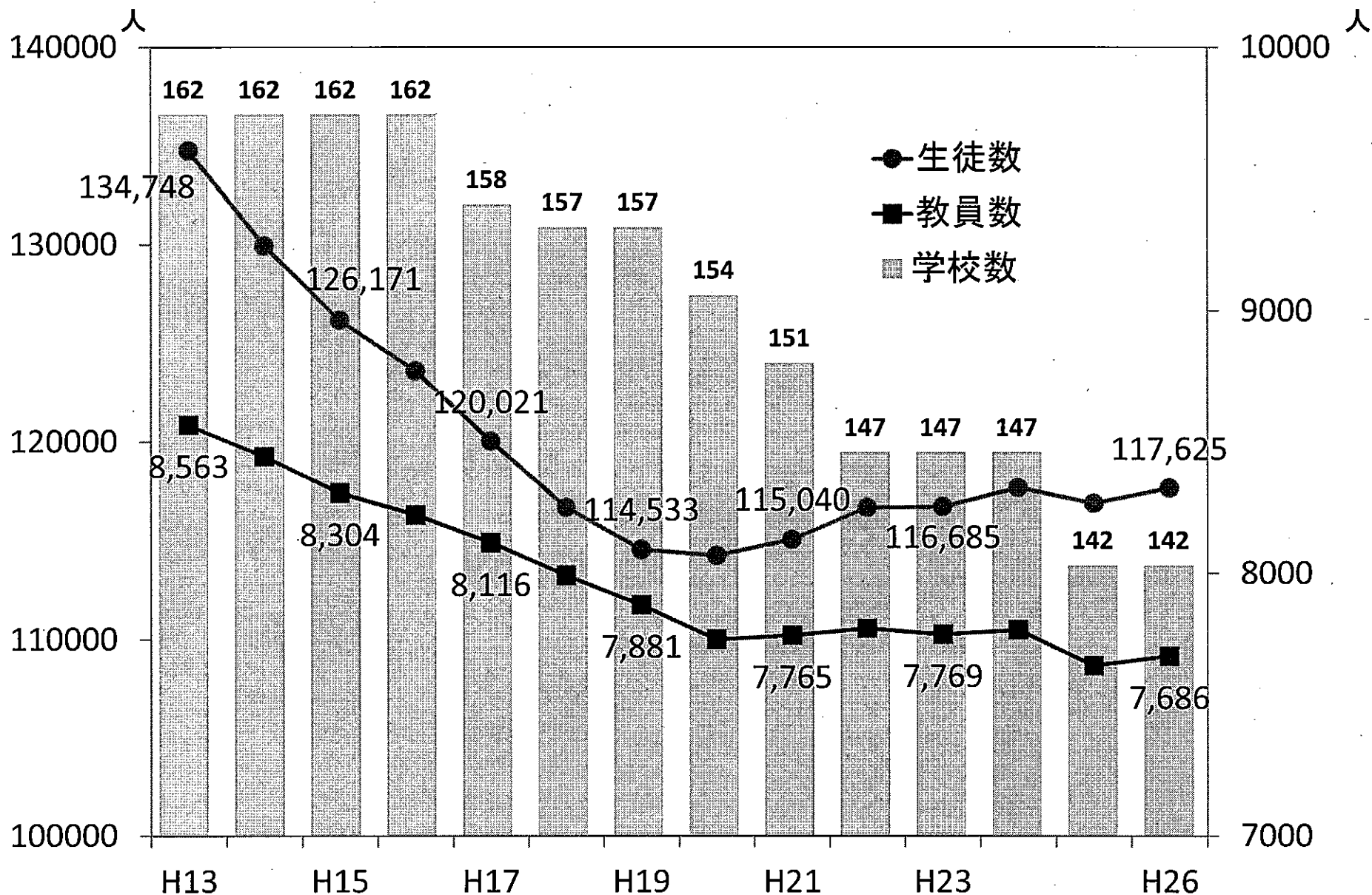
## 公立高等学校全日制 生徒数及び学校数

学校基本調査(各年度5月1日現在)



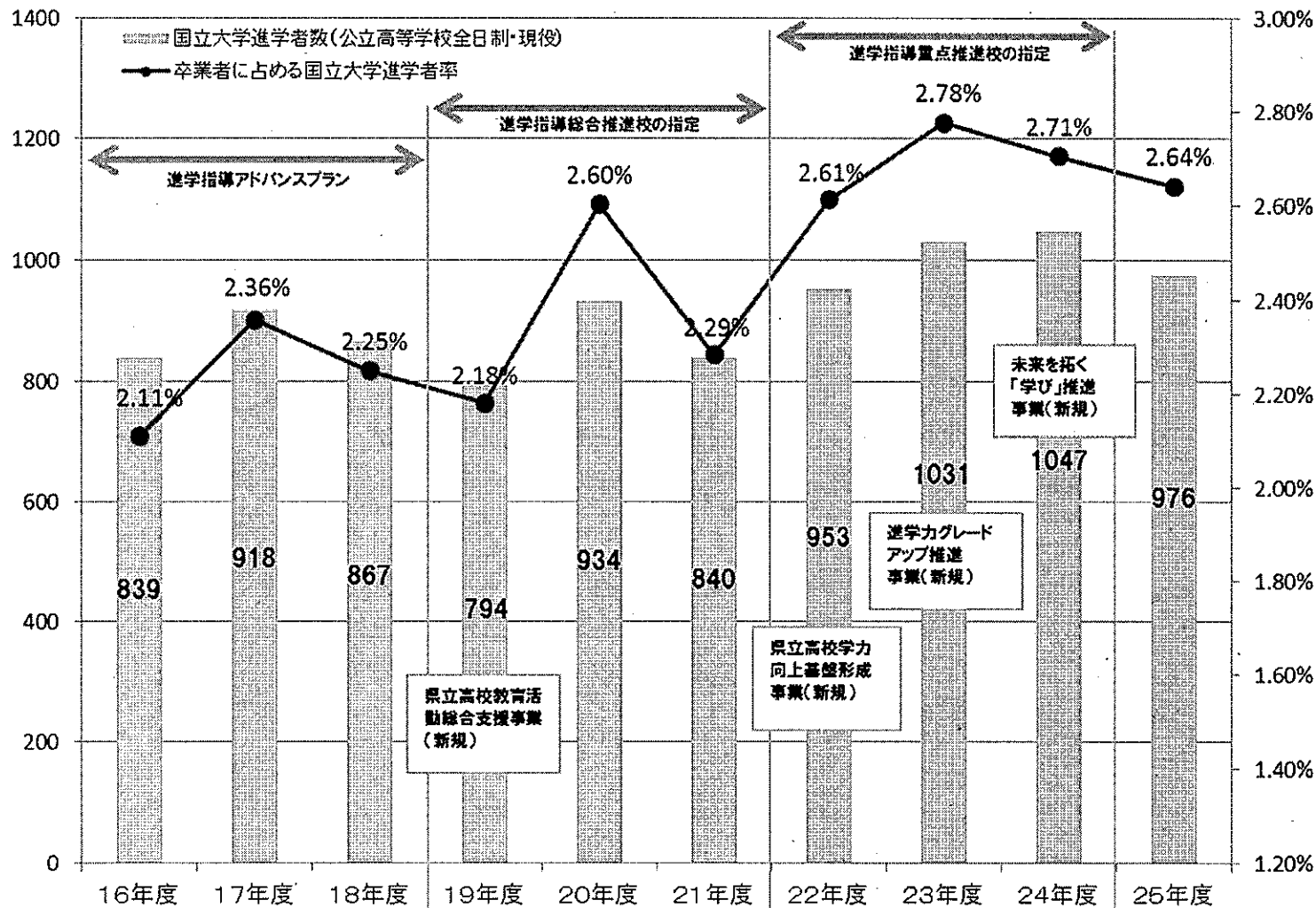


# 公立高等学校全日制の生徒数・教員数・学校数の推移(平成13年度～平成26年度)



3-1-4 公立高等学校全日制の生徒数・教員数・学校数の推移(平成13年度～平成26年度)

# 公立高等学校全日制における国立大学進学者の状況



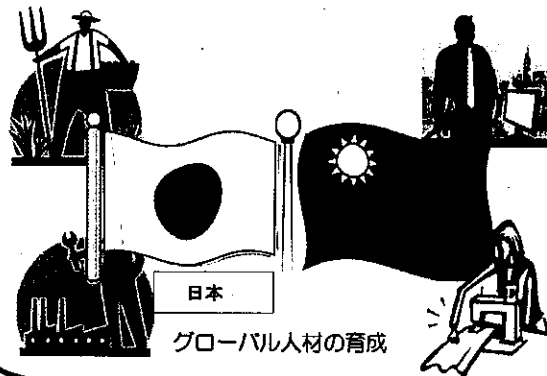
※各年度3月の卒業者の状況

「高等学校卒業者の進路状況調査」を基に作成

# 高等学校における職業教育の取組

## 埼玉からアジアへの扉を開く！ 実践的職業教育グローバル事業

- 各専門分野における高度な知識、技術等の習得
- 国外を含む学校・学科の枠を超えたチームによる商品開発
- 主体的に行動し、最後までやり抜く忍耐力、課題解決能力の向上

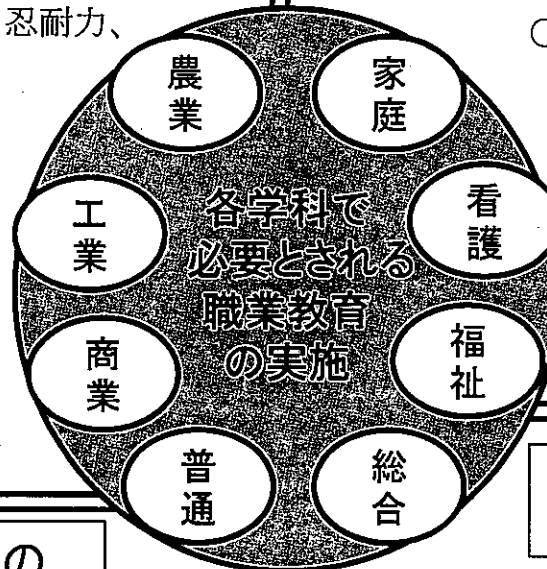


## 再生可能エネルギー普及の ための高校生地域貢献事業

- 木質バイオマスエネルギー活用の取組による地域貢献と循環型の社会や農林業を担う人材の育成

## 職業教育推進事業

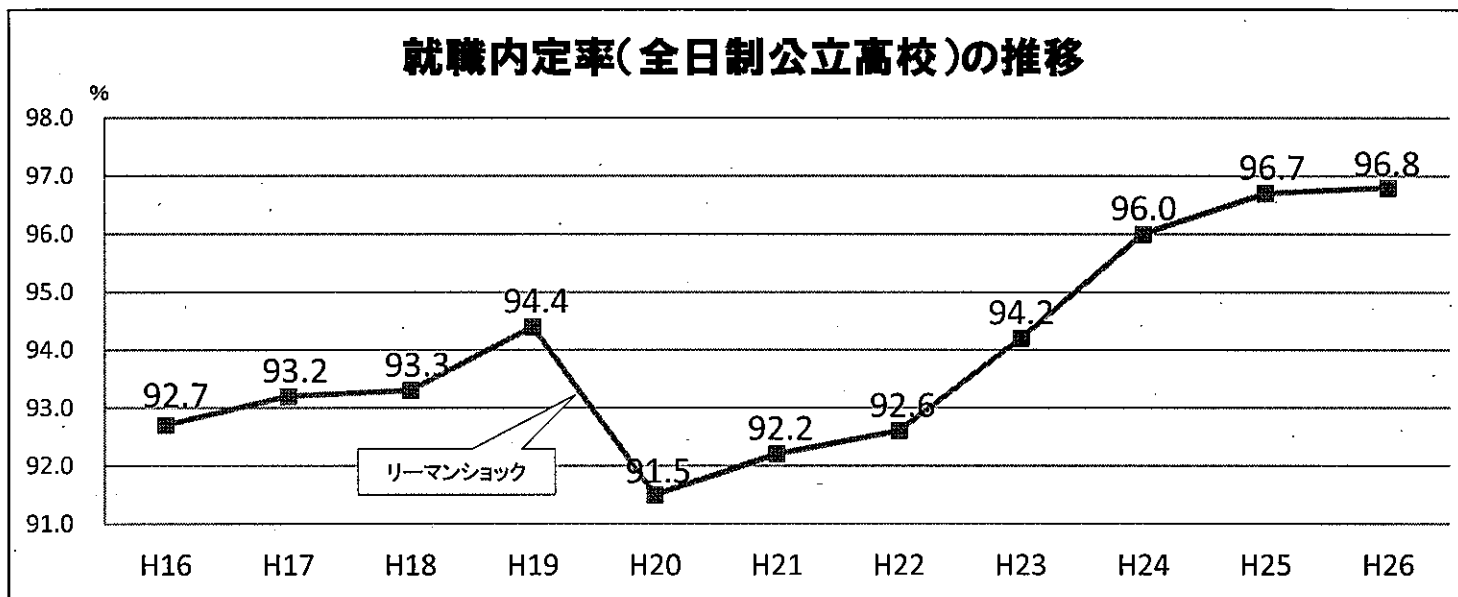
- 産業教育フェアにより、職業教育や科学技術などの「楽しさ」を伝え、好奇心に溢れた子どもたちを育成
- 秀でた技術を持った民間人を講師に招き、学習意欲の高揚と専門技術を向上
- 専門資格の取得を奨励し、学習意欲を向上
- 理科学の実験をとおして、高い専門を持つ人材を育成



## 【国庫】スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH) 事業

- 社会の変化や産業の動向等に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成

# 高等学校における職業教育の成果



## 専門資格取得の状況(一例)

〈誠和福祉高等学校〉

3年連続

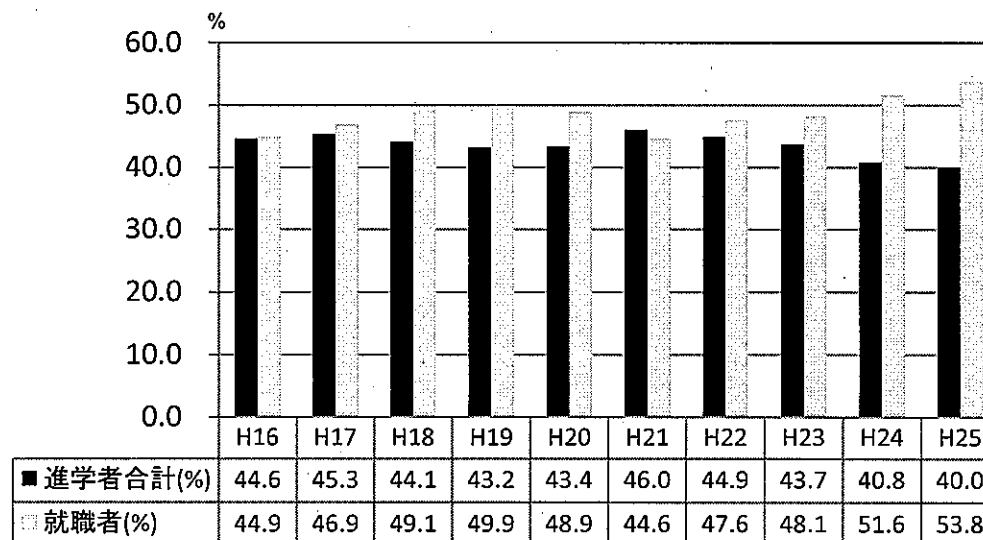
介護福祉士国家試験合格率 100%

〈常盤高等学校・専攻科〉

2年連続

看護師国家試験合格率 100%

## 農工商業学科卒業者の進路状況

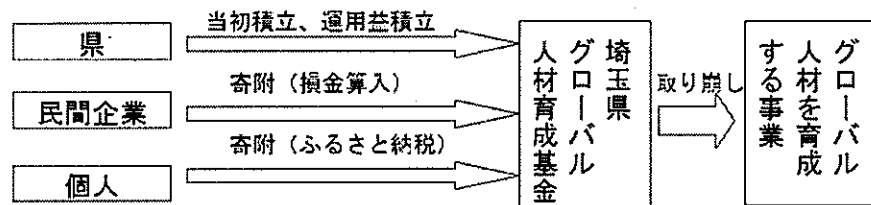


# 埼玉県グローバル人材育成基金の概要

## 1 目的

海外にチャレンジする高い志を持つ若者の海外留学支援など、グローバル人材を育成する事業の財源に充てるため、埼玉県グローバル人材育成基金条例(平成23年度～平成28年度までの6年間)に基づき基金を設置した。

産・学・官が連携し、「埼玉から世界へ羽ばたくグローバル人材育成」のムーブメントを起こし、広く寄附を呼び掛け、民間から得た寄附金及び基金の運用益を積み立てる。



## 2 基金残高

696,043,472円 (平成27年3月31日現在)

## 3 寄附件数

47件 40,255,805円 (平成27年6月1日現在)

## 4 主な基金の使途



「埼玉発世界行き」奨学金の支給  
(写真は壮行会・帰国報告会)



グローバルキャンプ埼玉  
(県内疑似留学体験)の実施



大学生の海外インターンシップの促進



県立高校生の海外有名大学への短期派遣

# 海外留学の促進 ～埼玉発世界行き～

埼玉県

## 海外留学の促進 ～埼玉発世界行き～

23年度から合計で 約1,100人を支援

### 《特徴》

・学位取得コース  
1人最大100万円/年  
×4年の手厚い支援

・協定留学コース  
授業料免除の協定  
留学にも渡航費を支援  
1人最大20万円

・高校生留学コース  
1人最大60万円の  
手厚い支援

### 《成果》

・延べ80人を  
送り出し

・824人を  
送り出し  
・協定留学は  
22年度比で  
3割以上UP!

・195人を  
送り出し

### 平成27年度奨学金事業

コース	人数
学位取得コース	15名
認定・留学コース	200名
高校生留学コース	50名
理系・短期留学コース	20名

#### 平成27年度新規

大学が認定する1週間以上6か月未満の理系プログラム



# 日本一の奨学金制度

～経済的理由により修学が困難な高校生等のニーズに応えた無利子の奨学金を充実～

## ◇ 全国で本県のみ実施

・奨学金の貸与に関して「連帯保証人が不要」

平成19年度より開始

・金融機関(埼玉りそな銀行)が奨学金の貸与、  
債権管理・回収を行う「金融機関連携方式」

平成19年度より開始

## ◇ 全国トップレベル

・奨学金の貸与上限額

入学一時金 【全国1位(同額あり)】

H19より全国1位

奨学金(月額) 【全国2位(同額あり)】

H19～H21全国1位、H22～全国2位

※平成27年1月現在

・新生への奨学金の貸与を  
「入学前に行うことが可能」

【本県を除き5府県】

※平成27年1月現在

## ○ 奨学金上限額のお県比較

【入学一時金】

<国公立高校>

貸与上限額	都道府県名
100,000円	埼玉、佐賀※1
80,000円	三重

【奨学金(月額)】

<国公立高校>

貸与上限額※2	都道府県名
30,000円	岐阜※1
25,000円	埼玉、北海道※1

※1 成績要件あり

※2 遠距離通学等に係る加算等を除いた額

<私立高校>

貸与上限額	都道府県名
250,000円	埼玉、京都、大阪
200,000円	北海道※1、東京、佐賀、滋賀

<私立高校>

貸与上限額※2	都道府県名
47,000円	岐阜※1
40,000円	埼玉、神奈川※1

# 日本一の奨学金制度実績・成果

## 奨学金貸与者数及び貸与額の推移

最新値

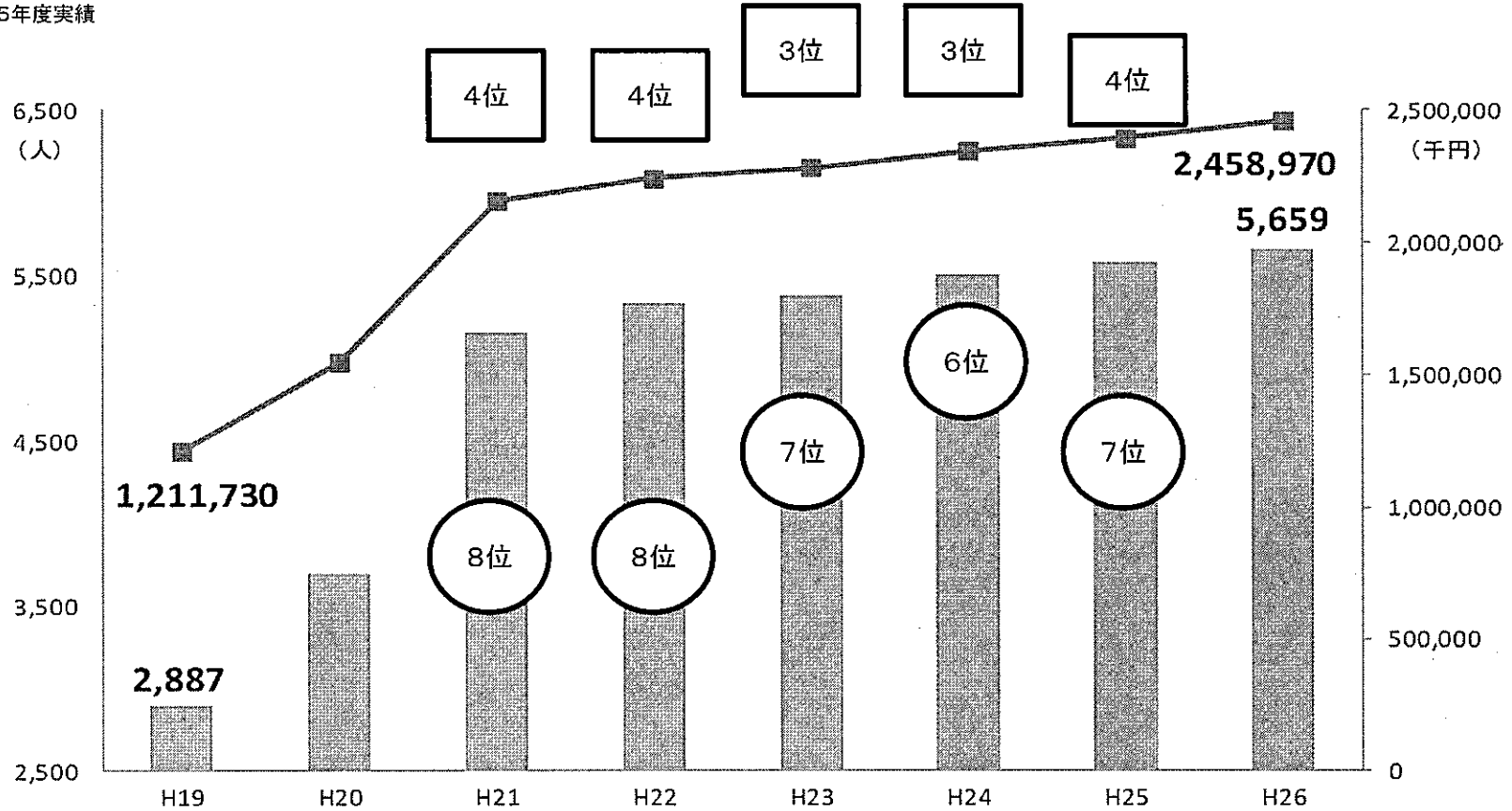
※平成25年度実績

・貸与額

【全国 4位】

・貸与者数

【全国 7位】



年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
貸与額 (千円)	1,211,730	1,546,780	2,152,680	2,237,940	2,279,260	2,344,790	2,392,790	2,458,970
貸与者数 (人)	2,887	3,693	5,156	5,327	5,375	5,501	5,578	5,659
貸与額 (全国順位)	-	-	4	4	3	3	4	-
貸与者数 (全国順位)	-	-	8	8	7	6	7	-



# 平成26年度 発達障害児・者への支援に係る事業実施結果について

## 1 人材の育成

### ○市町村「発達支援マネージャー」の育成

・148人が5日間の研修を受講(累計 617人)

### ○保育所・幼稚園「発達支援サポーター」の育成

・869人が3日間の研修を受講(累計 4,295人)

### ○幼保から小学校へ支援をつなぐ発達支援研修

・校長等管理職、1～3年学級担任等を対象とした研修  
・1,202人が受講(累計 2,538人)

H23年度からH26年度までの累計で7,500人  
→ H27年度までの5年間で累計10,500人を育成

## 2 親への支援

### ○子供の発達支援巡回事業の実施

・作業療法士等の専門職が保育所・幼稚園等を巡回  
・巡回数: 1,150回 支援児童数: 4,700人

### ○ストレス解消! 楽しい子育て応援講座の実施

・川越市、川口市、鴻巣市、飯能市で講座を開催 237人参加

### ○ペアレントメンター交流会・相談会の実施

・新座市、行田市、所沢市、日高市、戸田市で交流会・相談会を開催 89人参加

## 3 診療・療育体制の強化

### ○中核発達支援センターの運営(3か所)

・光の家療育センター(毛呂山町)  
・中川の郷療育センター(松伏町)  
・福祉医療センター太陽の園(熊谷市)

H23年度 初診306人・延べ10,469人  
→ H26年度 初診650人・延べ28,000人

## 4 就労の支援

### ○発達障害者就労支援センターの設置

・就労相談からアセスメント、訓練、就職、職場定着までワンストップで支援  
・2か所(川口市、草加)



平成26年度から成人期を支援し乳幼児期から成人期まで全てのライフステージを支援

# 発達障害児支援のための人材育成 ～市町村、保育所・幼稚園、小学校～

○育成数

(単位：人)

対象	研修名	23	24	25	26	27
市町村	発達支援マネージャー育成研修 〔障害福祉、子育て支援、 母子保健の担当者〕	166	155 (321)	148 (469)	148 (617)	100 (717)
保育所・幼稚園 1,424か所	発達支援サポーター育成研修 〔園長、保育士、幼稚園教諭〕	1,580	939 (2,519)	907 (3,426)	869 (4,295)	1,186 (5,481)
小学校 717校	幼保から小学校へ支援を つなぐ発達支援研修 〔校長、教頭 特別支援教育コーディネーター 1～3年学級担任〕			1,336	1,202 (2,538)	1,764 (4,302)
計		1,746	1,094 (2,840)	2,391 (5,231)	2,219 (7,450)	3,050 (10,500)

下段の( )内は累計

# 生活保護世帯の子供への学習支援

(平成22年度～)



## 「貧困の連鎖」発生率 25.1%

保護世帯で育った子どもが、  
大人になって再び保護を受ける

教員OBなどの支援員と大学生ボランティアが、  
特別養護老人ホームで学習指導



大学生ボランティアの参画



会場は特別養護老人ホーム

## H26の実績

- 中学3年生の参加者数 303人
- 高校進学率 97.7% (303人中296人が進学)

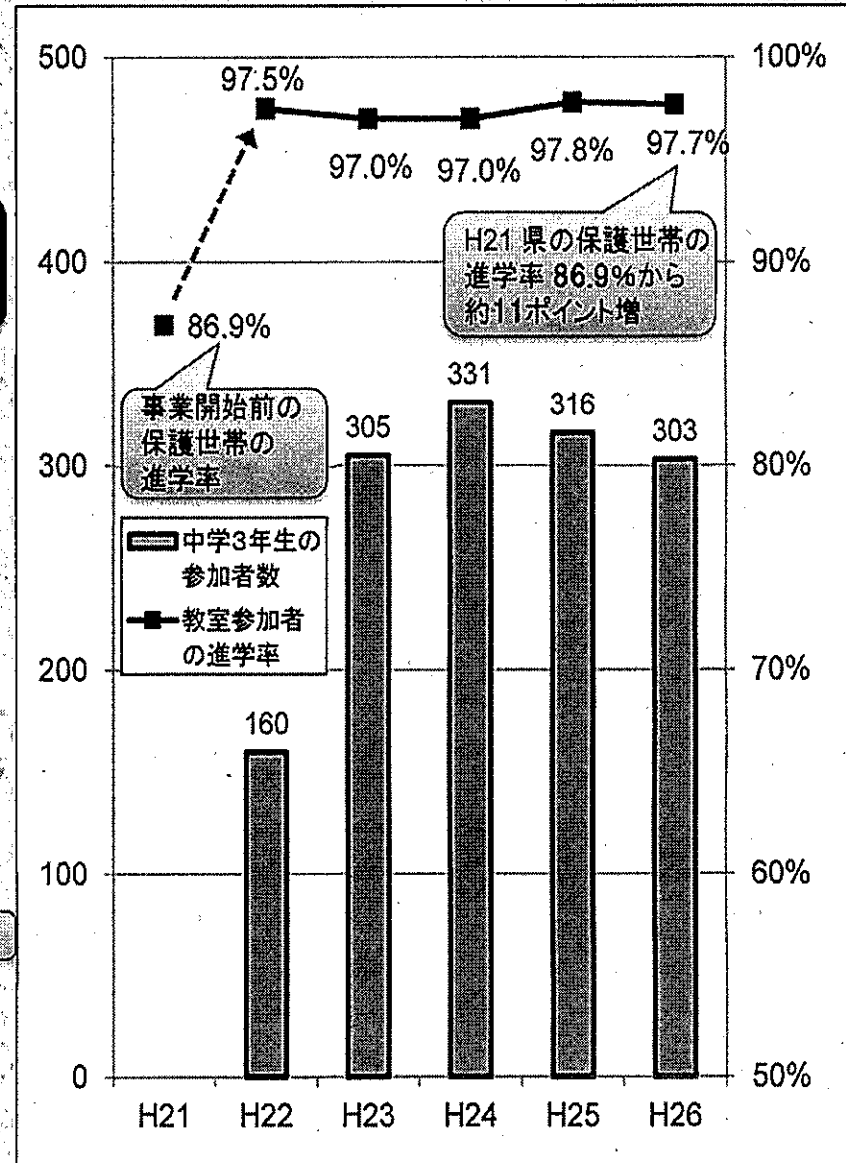
25年度から高校生教室を設置し中退防止を推進

- 高校中退率 4.6% (262人中250人が進級)

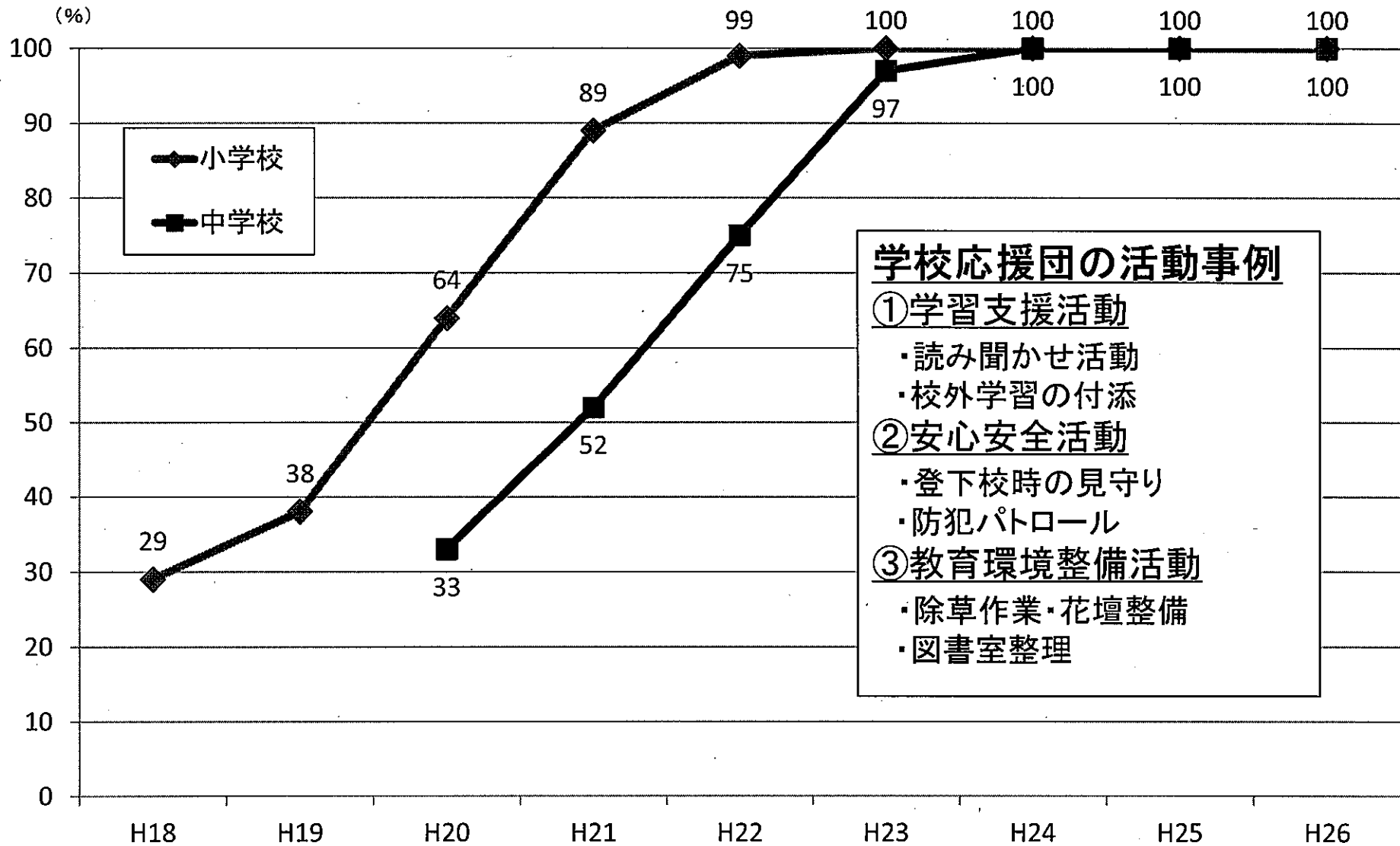
H24県の保護世帯の中退率 8.1%から3.5ポイント改善

## H27の展開

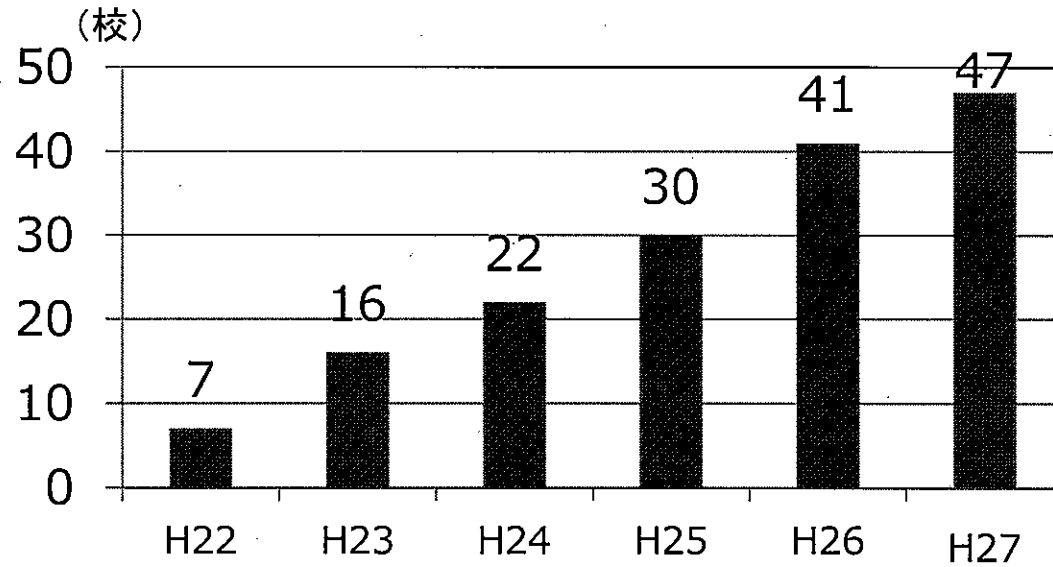
- ・平成27年度から市部は市が、町村部は県が学習支援事業を実施
- ・県内全ての市が事業実施予定。29市と県は支援対象を生活困窮世帯にも拡大。



# 学校応援団の組織率と活動事例

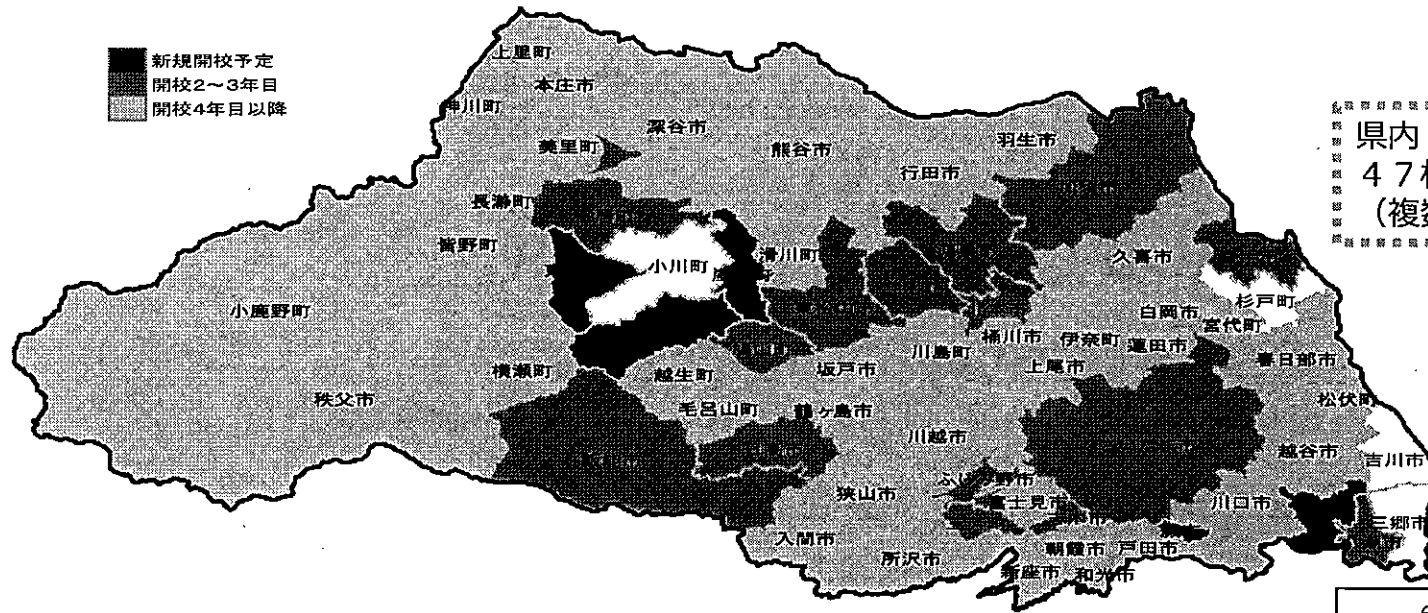


# 子ども大学開校状況

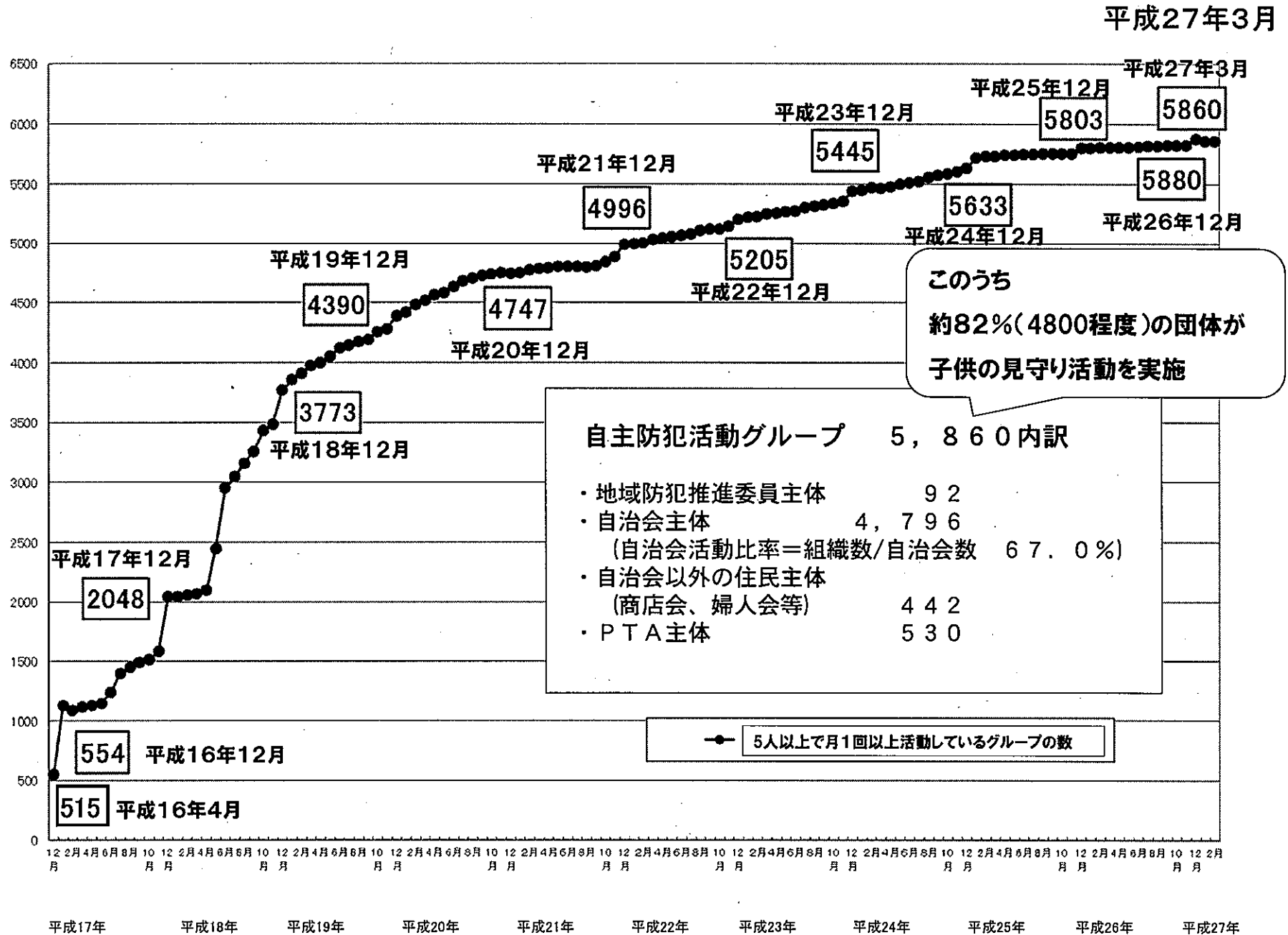


平成27年度 子ども大学開校予定

見込み



# わがまち防犯隊の数の推移

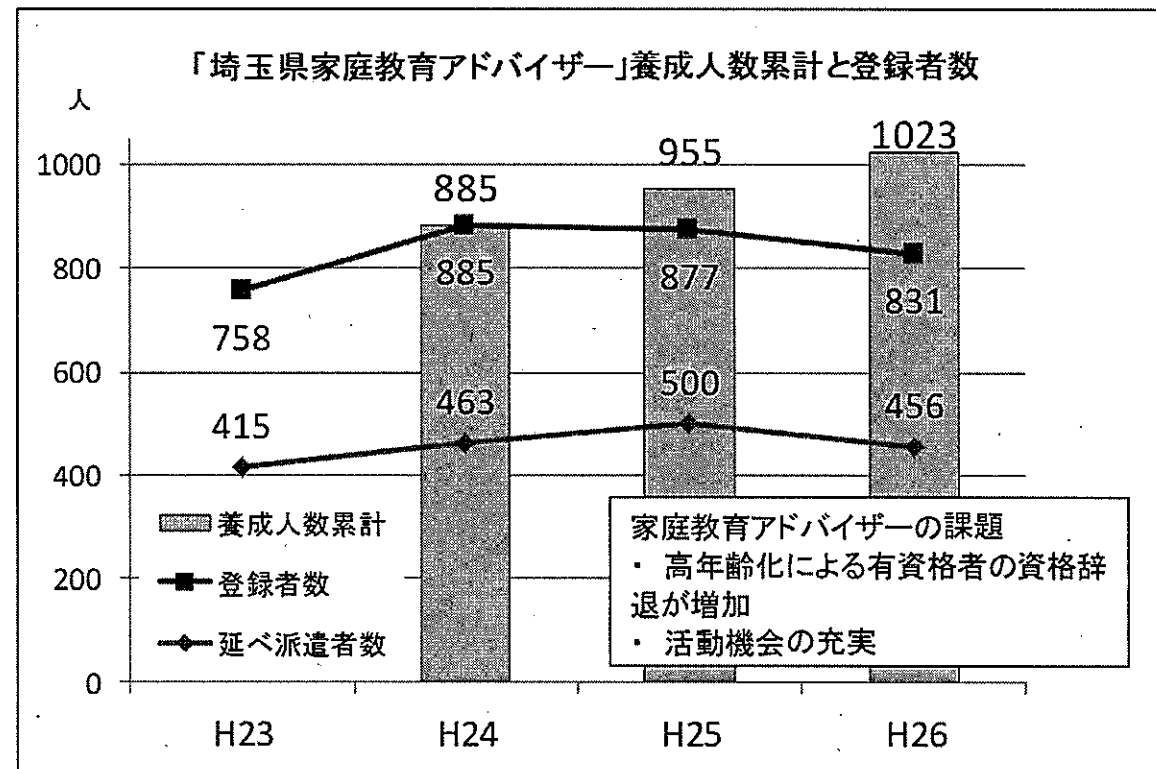


# 埼玉県家庭教育アドバイザーの養成人数

## 「家庭教育アドバイザー」

- ・ 家庭教育支援や子育て支援に関する研修を受講した方
- ・ 「親が親として育ち、力をつけるための学習」や「親になるための学習」を支援する「親の学習」の指導や、子育てサロンなどで指導や相談を行っている。

## 経緯



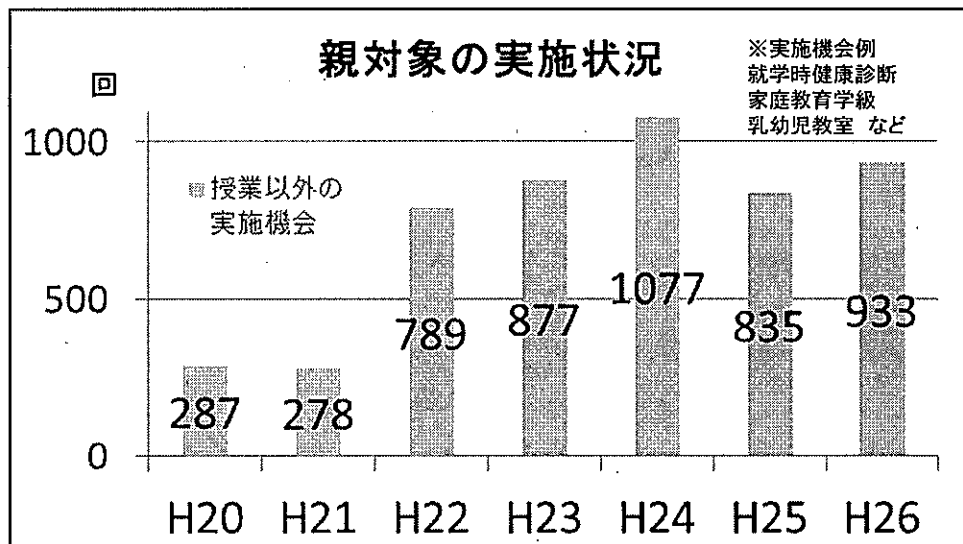
# 「親の学習」に関する取組

## 親の学習とは？

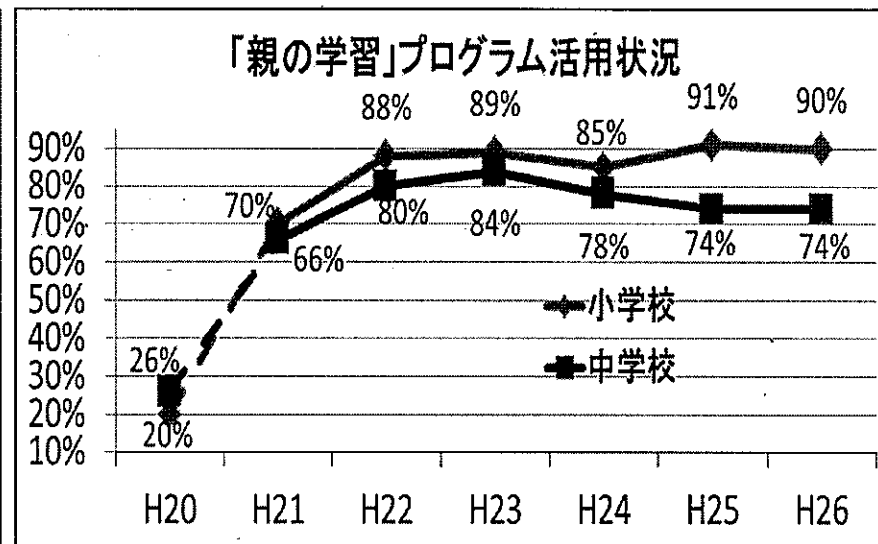
- 中学生・高校生を対象とした「親になるための学習」
- 親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」

## プログラム例

- ・「家族ってなんだろう？」～中学生対象～
- ・「しつけ」ってなに？～すべての保護者対象～
- ・6年間の大きな成長～小学生を持つ保護者対象～
- ・お母さんになるってどんな感じ？～高校生対象～
- ・「はじめまして、こんにちは」～乳幼児を持つ保護者対象～
- ・今どきの子どもの友人関係？～中学生・高校生を持つ保護者対象～



※H20・21年度は市町村への委託事業であったため、市町村からの報告による実績。  
※H22年度以降は「親の学習」の実績合計から、「授業での実施」の数値を差し引いたもの。



※H20は「親の学習」プログラム活用状況調査より  
※H21～学校の教育活動に関する調査より、保護者・子供たちを対象としたプログラムを活用した校数の割合

高等学校では保健や家庭の教育課程に、乳幼児や結婚、親についての学習を位置付けている。(100%実施)

### 【保健】「(2)生涯を通じる健康 アー(イ)結婚生活と健康」

健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態などの保健の立場から理解できるようにする。

(高等学校学習指導要領解部保健体育編「体育編」平成21年7月 文部科学省)

### 【家庭】「家庭基礎(1)人の一生と家族・家庭及び福祉」

「イ 子どもの発達と保育 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解させ、子どもを生き育てることの意義を考えさせるとともに、子どもの発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割について認識させる。」

(他に「家庭総合」「生活デザイン」においても記述あり)

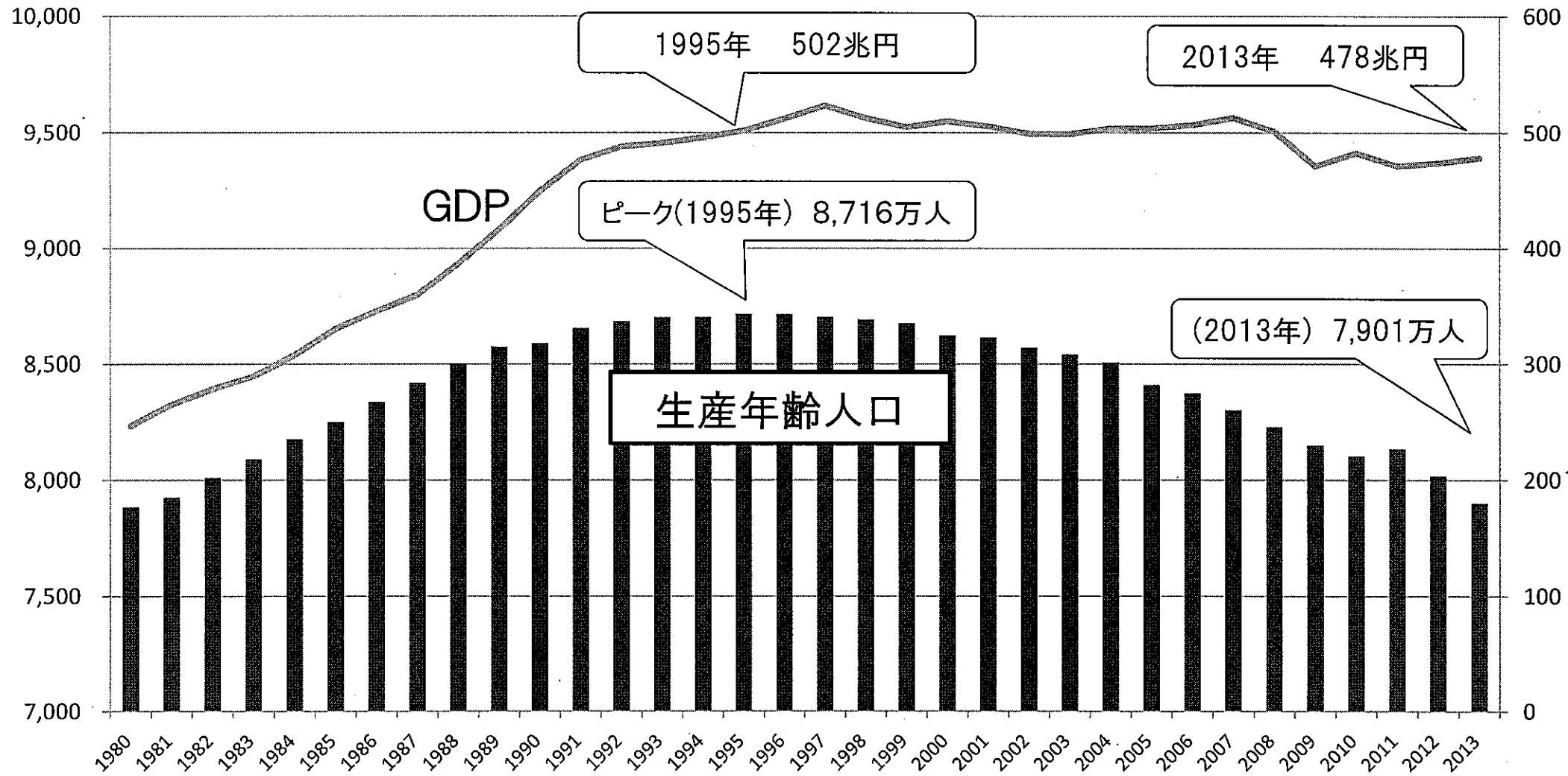
(高等学校学習指導要領解部「家庭編」平成22年1月 文部科学省)

6-7 「親の学習」に関する取組



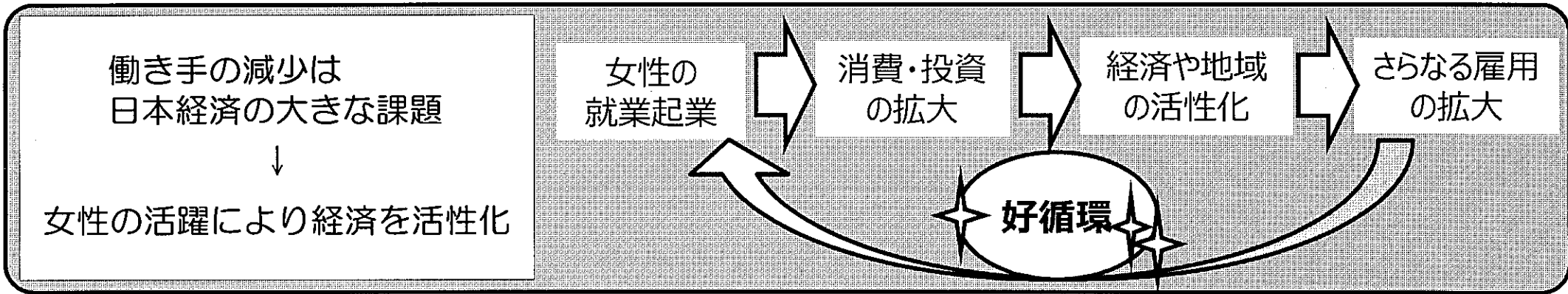
# 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト

(万人) 日本の生産年齢人口とGDPの推移 (兆円)



出典: 生産年齢人口(10月1日現在) 総務省統計局 GDP IMF World Economic Outlook

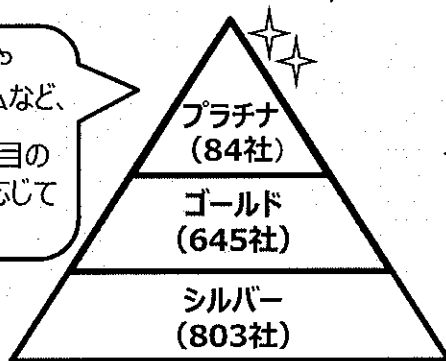
# 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト



## 働きやすい環境の整備

- 多様な働き方実践企業の認定  
・目標 2,000社 (H27)、現在1,532社

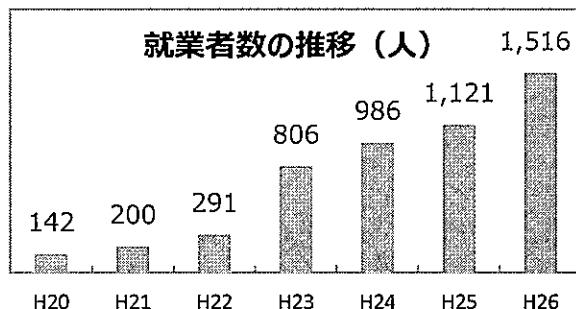
短時間勤務やフレックスタイムなど、6つの認定項目の該当件数に応じて格付け認定



- 女性の活躍するフィールドの拡大  
・経済団体や業界団体と連携 21団体
- 保育サービスの充実  
・保育サービスの受入枠拡大  
目標 6,000人分(H27)  
(企業内保育所の設置促進など)

## 女性の就業・起業支援

- 女性キャリアセンターでの就業支援  
・H26利用者数 12,503人  
・H26就業者数 1,516人



- きめ細かな再就職支援  
・実習体験型 (介護等の資格者向け・主婦向け)  
・在宅ワーク (WEBデザインなど)
- 女性起業支援ルーム  
「COCOオフィス」の設置・運営 (H25.6.~)

## 女性の活躍を応援する気運づくり

- サイトマ スマイル ウーマン
- SAITAMA Smile Womenフェスタの開催  
・会場：さいたまスーパーアリーナ  
・H26.9.13~14 来場者数 20,100人  
H27は9.12~13に開催予定



- 「輝く女性応援団」による情報発信  
・企業等がそれぞれの活動で女性の活躍を応援 1,000社